

# LineLazer™ 3400 エアレスラインストライパー 3A4672F JA

ラインストライピング材料用 一般目的では使用しないでください。屋外使用専用 爆発性環境または危険区域での使用は承認されていません。

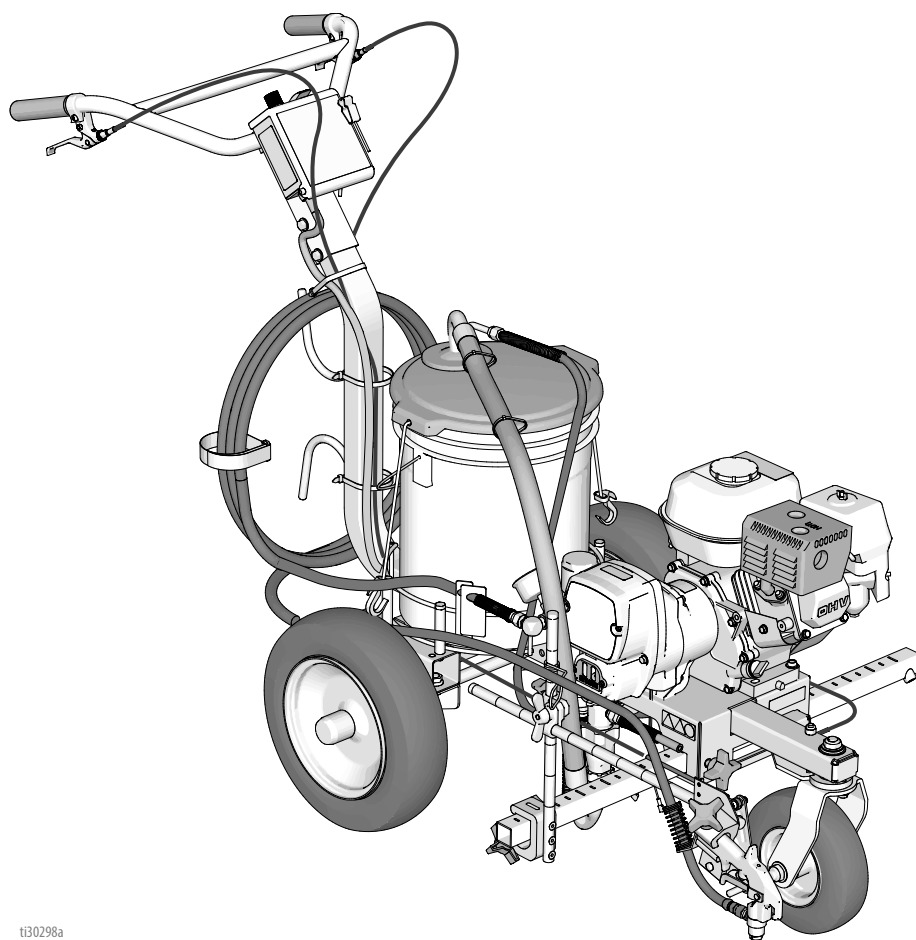
モデル : 25M224、25P341 (中国モデルのみ)  
3300 psi (22.8 MPa、228 bar) 最高使用圧力



## 重要な安全上の指示

本取扱説明書と装置取扱説明書に記載されている警告と説明をすべてお読みください。装置のコントロールと適切な使用方法をしっかりと把握してください。これらの指示は保管しておいてください。

関連説明書 :	
311254	ガン
309250	ポンプ



# 目次

警告	3	クラッチハウジング	30
チップの選択	6	取り外し	30
構成部品の識別	7	取り付け	30
接地手順 (引火性材料のみ)	8	エンジン	30
ペール缶	8	取り外し	30
圧力開放手順	9	取り付け	30
フロントホイール位置調節	10	圧力制御トランスデューサ	31
操作	11	取り外し	31
設定	11	取り付け	31
スタートアップ	12	圧力制御 (オン/オフスイッチ)	32
RAC チップおよび RAC ガードの組み立て	14	取り外し	32
ガンの配置	15	取り付け	32
ガンの取り付け	15	圧力調節ポテンシオメーター	33
ガンの位置調整	15	取り外し	33
塗料のストライプ幅	17	取り付け	33
テスト用ストライプのスプレーを行います	17	制御盤	33
チップの詰まりの除去	17	取り外し	33
清掃	18	取り付け	33
洗浄に関する推奨事項	21	部品図	34
トラブルシューティング	22	25M224	34
置換ポンプ	24	部品一覧 - 25M224	35
取り外し	24	部品図	36
修理	24	部品一覧 - 25M224	37
取り付け	25	部品図および一覧 - ピニオンハウジング	38
ドライブハウジングおよび接続ロッド	26	ガンアーム部品	39
取り外し	26	圧力制御/フィルタアセンブリ	40
取り付け	26	部品一覧 - 圧力制御/フィルタアセンブリ	41
ピニオンアセンブリ/クラッチアーマチュア/ クランプ	27	圧力制御配線図	42
ピニオンアセンブリ/クラッチア ーマチュアの取り外し	27	技術データ	43
取り付け	28	カリフォルニア州法 65	44
クランプの取り外し	29	Graco 標準保証	45
クランプの取り付け	29	Graco に関する情報	46

## 警告

次の警告は、この装置の設定、使用、接地、メンテナンスと修理に関するものです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を意味し、危険シンボルは手順特有の危険性を知らせます。これらの記号が、本説明書の本文または警告ラベルに表示されている場合には、これらの警告を参照してください。このセクションにおいて扱われていない製品固有の危険シンボルおよび警告が、必要に応じて、この取扱説明書の本文に示されている場合があります。

## 警告

	<p><b>皮膚への噴射の危険性</b></p> <p>高圧スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす可能性があります。万一肌に付着した場合は、<b>直ちに外科的処理を受けてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人間もしくは動物に向けてガンやスプレーを発射しないでください。</li> <li>• 手やその他の体の部位を噴射部分に近づけないでください。例えば、身体のいかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。</li> <li>• ノズル先端ガードを常に使用してください。ノズル先端ガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。</li> <li>• Graco のノズルチップをご利用ください。</li> <li>• ノズルチップの清掃および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを清掃のために取り外す前に、<b>圧力開放手順</b>に従って、装置の電源をオフにして圧力を開放してください。</li> <li>• 装置は電源切断後も圧力を維持します。装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで放置しないでください。装置が無人であったり使用されていなかったりする場合は、稼働、クリーニング、または部品の取り外しを行う前に、<b>圧力開放手順</b>に従ってください。</li> <li>• 損傷の兆候があるホースや部品がないか確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。</li> <li>• このシステムは、3300 psi の生成能力があります。最低 3300 psi の定格を持つ Graco 製の交換部品や付属品を使用してください。</li> <li>• スプレーを中断するときは、引き金ロックを掛けてください。引き金ロックが正しく機能しているか確認してください。</li> <li>• 装置を操作する前に、すべてしっかりと接続されていることを確認してください。</li> <li>• 手早く装置を停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。</li> </ul>
	<p><b>火災および爆発の危険性</b></p> <p>作業場に、溶剤や塗料の蒸気のような可燃性の蒸気が存在すると、火災や爆発の原因となることがあります。装置を通して流れている塗料や溶剤は静電スパークの原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 十分換気された場所でのみ使用するようにしてください。</li> <li>• エンジンの運転中または熱い間は、燃料タンクに燃料を入れないでください。エンジンを停止して冷却させてください。燃料は可燃性であり、熱した面にこぼれた場合、引火または爆発する恐れがあります。</li> <li>• 表示灯やタバコの火、懐中電灯およびプラスチック製シート（静電スパークが発生する恐れのあるもの）などのすべての着火源は取り除いてください。</li> <li>• 作業場にあるすべての装置を接地してください。<b>接地</b>の説明を参照してください。</li> <li>• 洗浄用溶剤を高圧でスプレーしたり洗浄したりしないでください。</li> <li>• 溶剤、ボロ布、ガソリンなどの異物は作業場に置かないでください。</li> <li>• 可燃性の気体が充満している場所で、電源コードの抜き差しや電気スイッチのオン/オフはしないでください。</li> <li>• 接地されたホースのみを使用してください。</li> <li>• ペール缶に向けて引き金を引く場合、ガンを接地した金属製ペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電気防止または導電性でない限り、ペール缶ライナーは使用しないでください。</li> <li>• <b>静電気放電が生じた場合、または感電したと感じた場合</b>、操作を直ちに停止してください。問題を特定し、解決するまでは、装置を使用しないでください。</li> <li>• 作業場には消火器を置いてください。</li> </ul>

# 警告

	<p><b>装置誤用による危険</b> 装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 疲労状態、薬を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。</li> <li>• システム内で耐圧または耐熱定格が最も低い部品の、最高使用圧力または最高使用温度を超えないようにしてください。すべての機器説明書の <b>技術データ</b> を参照してください。</li> <li>• 装置の接液部部品に適合する液体と溶剤を使用してください。すべての機器取扱説明書の <b>技術データ</b> を参照してください。液体および溶剤製造元の警告も参照してください。使用している化学物質に関する詳しい情報については、販売代理店または小売店から安全データシート (SDS) を取り寄せてください。</li> <li>• 機器が通電中あるいは加圧中の場合は作業場を離れないでください。</li> <li>• 装置を使用していない場合は、すべての装置の電源を切断し、<b>圧力開放手順</b> に従ってください。</li> <li>• 毎日、装置を点検してください。製造元純正の交換用部品のみを使用し、磨耗または破損した部品を直ちに修理または交換してください。</li> <li>• 装置を改造または変更しないでください。装置を改造または変更すると、認証機関の承認が無効になり、安全上の危険が生じる場合があります。</li> <li>• すべての装置が、それらを使用する環境用に認定され、承認されていることを確認してください。</li> <li>• 装置を定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。</li> <li>• ホースとケーブルは通路、鋭角のある物、可動部品、高温の装置から離してください。</li> <li>• ホースをねじったり、過度に曲げたり、ホースを使用して装置を引き寄せたりしないでください。</li> <li>• 子供や動物を作業場から遠ざけてください。</li> <li>• 適用される全ての安全に関する法令に従ってください。</li> </ul>
	<p><b>加圧状態のアルミニウム部品使用の危険性</b> 加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、致死や重傷、物的損害をもたらす可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。</li> <li>• 漂白剤を使用しないでください。</li> <li>• 他の多くの流体も、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、材料供給元にお問い合わせください。</li> </ul>
	<p><b>可動部品の危険性</b> 可動部品は指や体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 可動部品に近づかないでください。</li> <li>• 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。</li> <li>• 圧力がかかった装置は、警告なしに始動することがあります。装置を点検、移動、またはサービスする前に、<b>圧力開放手順</b> に従ってすべての電源接続を外してください。</li> </ul>
	<p><b>一酸化炭素の危険性</b> 排気には、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと、死亡する恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 密閉した場所で操作しないでください。</li> </ul>
	<p><b>有毒な液体または蒸気の危険性</b> 有毒な液体や気体が目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SDS (安全データシート) を参照して、ご使用の液体の危険性について確認してください。</li> <li>• 有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用されるガイドラインに従ってください。</li> </ul>



 **警告****火傷の危険**

運転中、機器の表面や液体は加熱されて非常に高温になる可能性があります。重度の火傷を避けるためには：

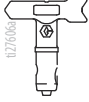

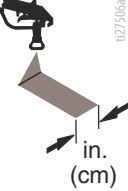


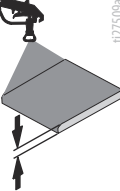
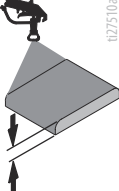
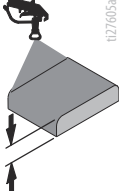
- 高温の液体や装置に触らないでください。

**個人用保護具**

作業場にいるときは、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。この保護具には以下のものが含まれますが、これら以外のものもあります：

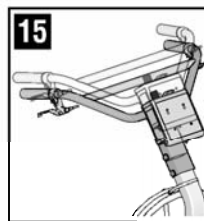
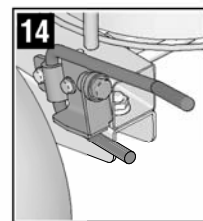
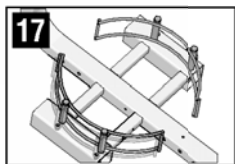
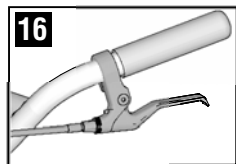
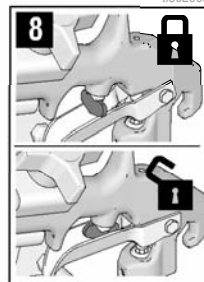
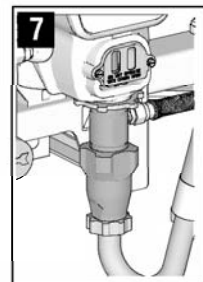
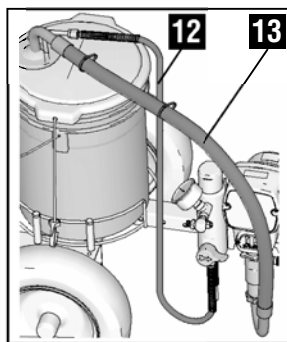
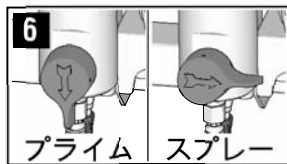
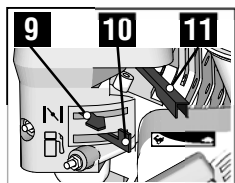
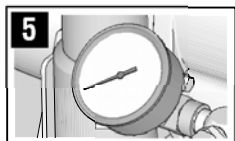
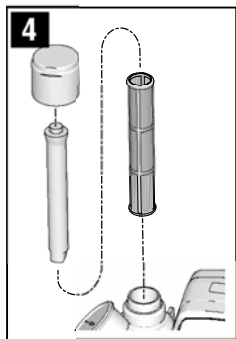
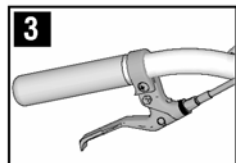
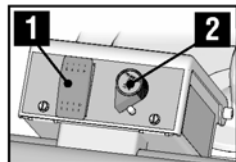
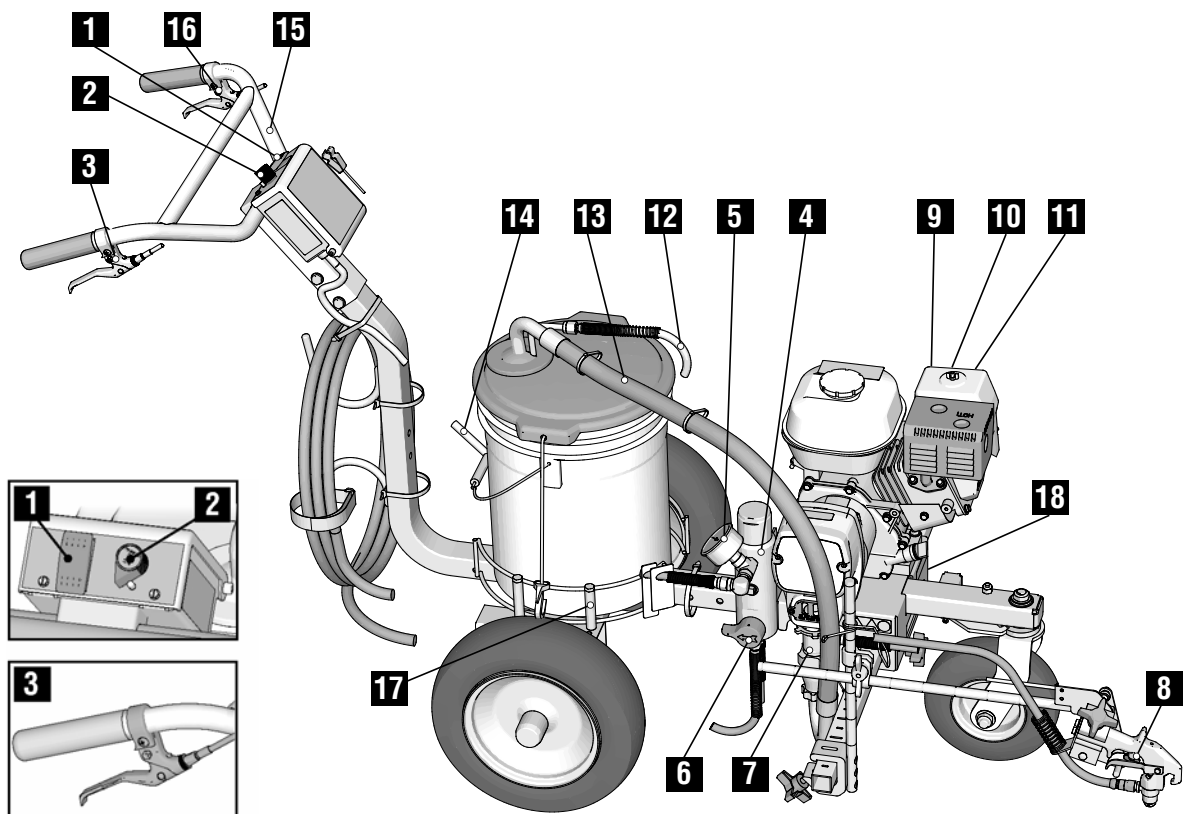
- 保護めがねと聴覚保護。
- 液体および溶剤の製造元が推奨するマスク、保護衣および手袋。

# チップの選択

							
LL5213*	2 (5)				✓		
LL5215*	2 (5)					✓	
LL5217		4 (10)				✓	
LL5219		4 (10)					✓
LL5315		4 (10)			✓		
LL5317		4 (10)			✓		
LL5319		4 (10)				✓	
LL5321		4 (10)				✓	
LL5323		4 (10)				✓	
LL5325		4 (10)					✓
LL5327		4 (10)					✓
LL5329		4 (10)					✓
LL5331		4 (10)					✓
LL5333		4 (10)					✓
LL5335		4 (10)					✓
LL5355		4 (10)					✓
LL5417			6 (15)		✓		
LL5419			6 (15)		✓		
LL5421			6 (15)		✓		
LL5423			6 (15)			✓	
LL5425			6 (15)			✓	
LL5427			6 (15)			✓	
LL5429			6 (15)			✓	
LL5431			6 (15)				✓
LL5435			6 (15)				✓
LL5621				12 (30)	✓		
LL5623				12 (30)	✓		
LL5625				12 (30)	✓		
LL5627				12 (30)	✓		
LL5629				12 (30)	✓		
LL5631				12 (30)		✓	
LL5635				12 (30)		✓	
LL5639				12 (30)			✓

\* 先端の詰まりを防ぐために 100 メッシュフィルタを使用してください。

# 構成部品の識別



t30299a

1	ポンプのオン/オフスイッチ
2	圧力コントロール
3	スプレーガンの引き金
4	フィルター
5	圧力計
6	プライムバルブ
7	ポンプ
8	引き金ロック
9	チョーク

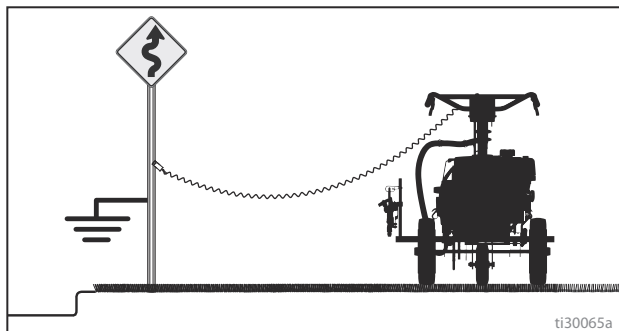
10	エンジンのオン/オフスイッチ
11	スロットル
12	ドインホース
13	吸引チューブ
14	パーキングブレーキ
15	アジャスタブルハンドル
16	アンロック/ロック式フロントホイール
17	アジャスタブル容器ホルダー
18	シリアル ID

## 接地手順 (引火性材料のみ)

				
--	---	---	--	--

本装置は静電火花の危険を減少させるために接地する必要があります。静電気によるスパークによって、気体の引火または爆発が生じることがあります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。

1. タイヤが舗装部分に来ないように、ストライパーの位置を調整してください。
2. ストライパーは接地クランプが付属した状態で発送されます。接地クランプは接地されている物体に接続される必要があります (例: 金属製の道標)。



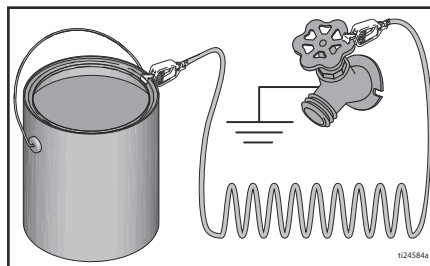
### ペール缶

**溶剤と油性液体:** ご使用の地域の法令に従ってください。コンクリートのような接地された表面に置かれた導電性金属のペール缶のみを使用してください。

接地の維持を妨げる紙や段ボールのような非導電性面に、ペール缶を設置しないでください。



**金属ペール缶は必ず接地してください:** 接地線をペール缶に接続してください。一方の端はペール缶にクランプし、他方の端は水道管などの正しい接地にクランプします。



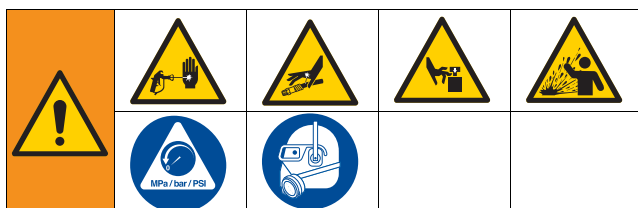
スプレーヤー洗浄時や圧力開放時に接地を維持するため、スプレーガンの金属部分を接地された金属製ペール缶の側面に向けてしっかりと持って、ガンの引き金を引きます。



# 圧力開放手順

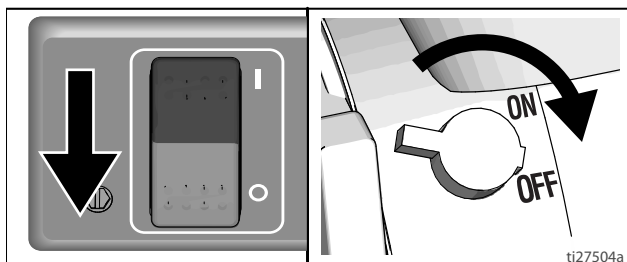


この記号が表示されている箇所では、**圧力開放手順**に従ってください。

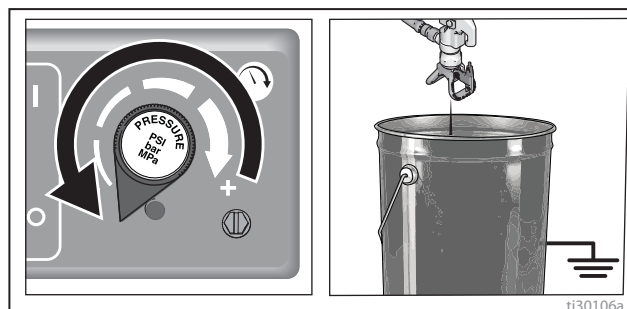


本装置は、圧力が手で解放されるまでは、加圧状態が続きます。スプレーヤーを停止させたとき、皮膚への侵入、液体の拡散、可動部品など、高圧液体による深刻な損傷を受けないようにするには、スプレーヤーの洗浄または点検を行う前に、および装置のサービス作業を行う前に**圧力開放手順**を実施します。

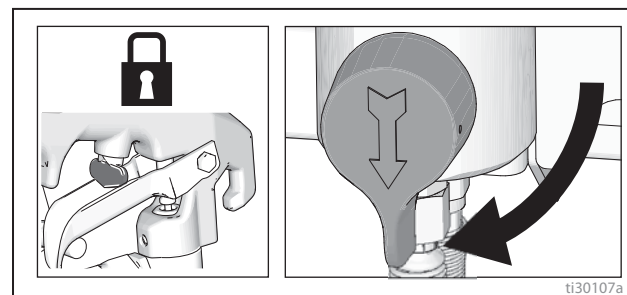
1. 引火性の材料を使用する場合は、**接地手順** を実行してください。
2. ポンプのスイッチを **オフ** にします。エンジンを **オフ** にします。



3. 圧力を最低設定にします。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。



4. 引き金ロックを掛けます。プライムバルブを下げます。



5. スプレーチップやホースが詰まっているか、圧力が完全に開放されていないと思われる場合：
  - a. 先端ガード保持ナットあるいはホース端部カップリングをごくゆっくり緩め、圧力を徐々に開放します。
  - b. ナットまたはカップリングを完全に緩めます。
  - c. ホースまたはチップの詰まりを除去してください。

**毎日：** エンジンオイル量を点検し、必要に応じ注油します。

**毎日：** ホースに摩耗および損傷がないか点検します。

**毎日：** ガンの安全装置が正常に動作するか点検します。

**毎日：** ガンの圧力ドレンバルブが正常に動作するか点検します。

**毎日：** ガスタンクを点検し注油します。

**毎日：** 排気ポンプパッキンナットの TSL レベルを点検します。必要に応じナットに注入します。ナットの TSL 量を維持し、ピストンロッドへの液体沈着、パッキンの早期磨耗およびポンプの腐食を防ぎます。運転開始から 20 時間後：

エンジンオイルを排出し、汚れていないオイルを注入します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

**毎週：** エンジンエアフィルターカバーおよびクリーンエレメントを外します。必要に応じエレメントを交換します。異常にほこりっぽい環境で運転する場合：フィルターを毎日点検し、必要な場合交換します。

交換用エレメントはお近くのホンダ販売代理店よりご購入頂けます。

運転開始から 100 時間後：

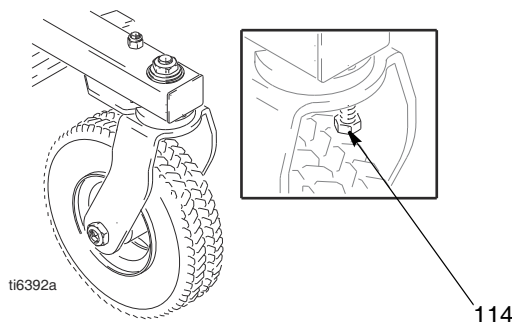
エンジンオイルを交換します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

**スパークプラグ：** BPR6ES (NGK) または W20EPR-U (日本電装) プラグのみを使用してください。プラグに 0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 インチ) のギャップを作ります。プラグの取り付けおよび取り外しの際は、スパークプラグレンチを使用して下さい。

## フロントホイール位置調節：

フロントホイールの位置を、下記要領で調節します：

1. キャップネジを緩めます (114)。



2. 必要に応じてフロントホイールを右または左に回転させ、まっすぐに位置調整します。
3. キャップネジを締めます (114)。ストライパーを押し、ストライパーから手を離しながらストライパーを回転させます。注：ストライパーが真っ直ぐに回転しているか、左右にブレていないか注意してください。真っ直ぐにストライパーが進むまで、手順 1 と 2 を繰り返します。



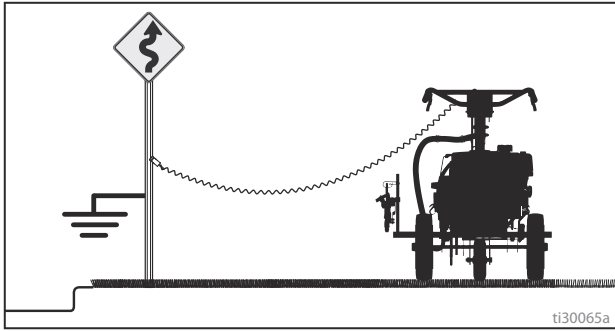
# 操作

## 設定

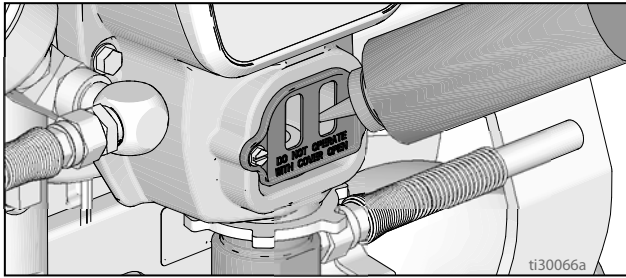


静電気火花による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。静電気火花が原因で、気体の引火または爆発が生じることがあります。接地することで、電線を通して、静電気を逃すことができます。

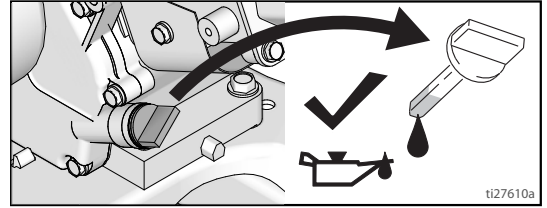
1. スプレーヤを接地クランプで接地します。



2. スロートパッキンナットに TSL を満たします。

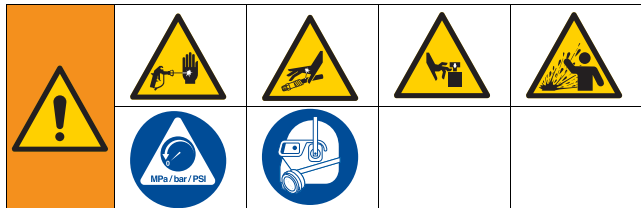


3. エンジンオイル量を点検します。ホンダのエンジン説明書を参照してください。

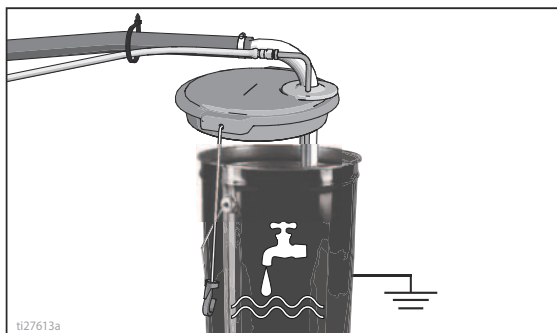


4. 燃料タンクに注油します。ホンダのエンジン説明書を参照してください。タイヤの空気が推奨圧まで入っていることを点検します。

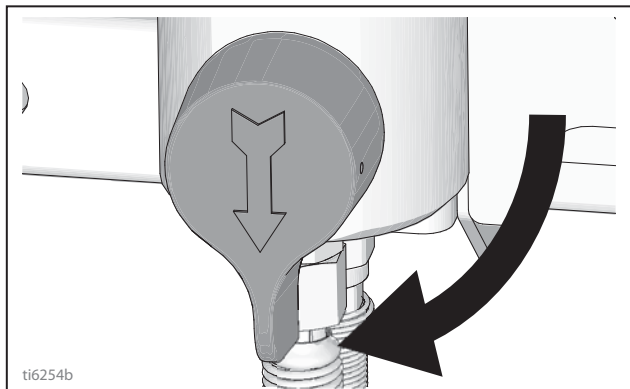
## スタートアップ



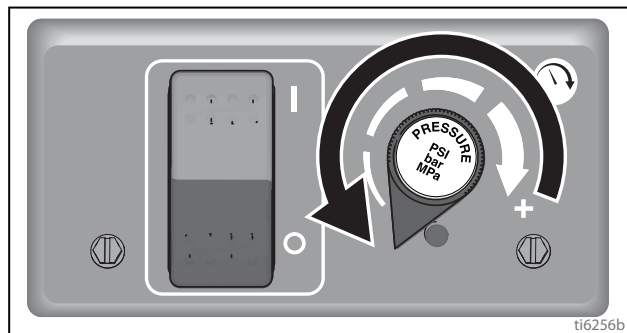
1. 圧力開放手順を実行してください。接地手順 (引火性材料のみ)、ページ 8 を参照してください。
2. 洗浄用液体がある程度入っている接地済みのペール缶にサイフォンチューブを入れます。接地ワイヤを缶および正しい接地点に接続します。水性塗料を洗浄する場合は水を使用し、油性塗料およびストレージオイルの場合は、ミネラルスピリットを使用します。



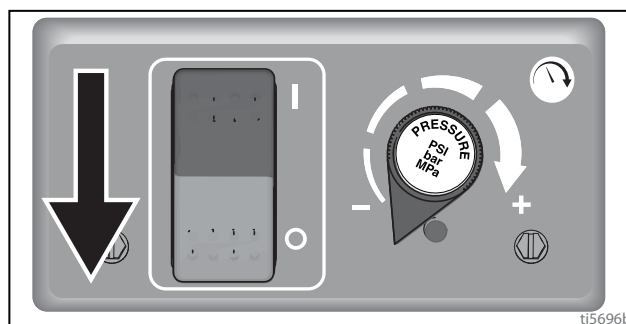
3. プライムバルブを下げます。



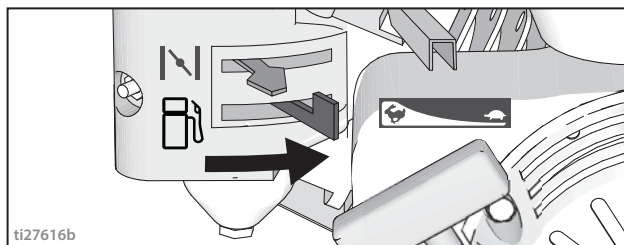
4. 圧力コントロールを反時計回りに回し、最低圧力の位置に切り替えます。



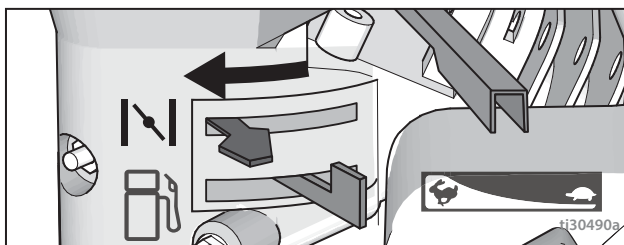
5. スイッチをオフにします。



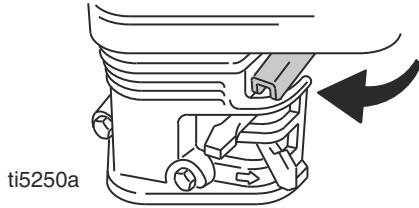
6. エンジンを始動させます。
  - a. 燃料バルブを「開」の位置にします。



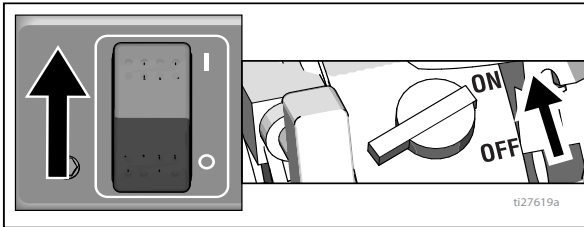
- b. チョークを「閉」の位置にします。



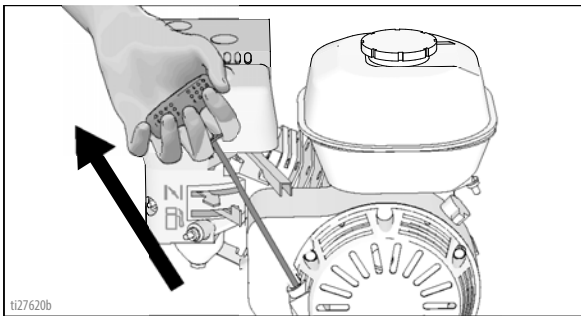
- c. スロットルを「高速」の位置まで回します。



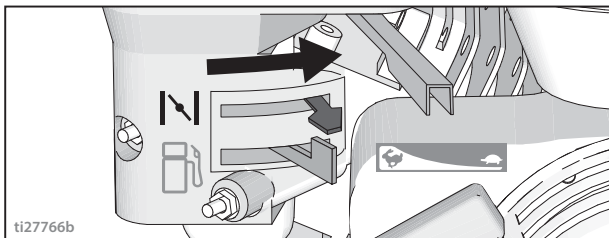
- d. エンジンスイッチをオンにします。



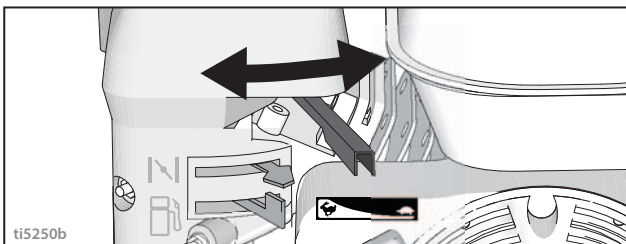
- e. スターターコードを引きます。



- f. エンジンが始動したら、チョークを「開」の位置にします。



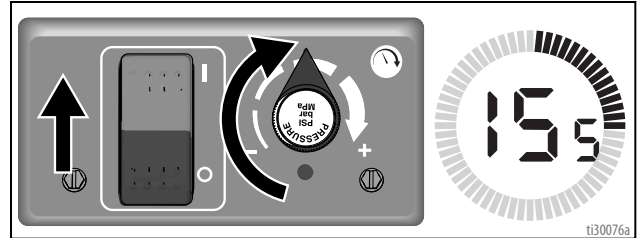
- g. スロットルを「低速」の位置まで回します。



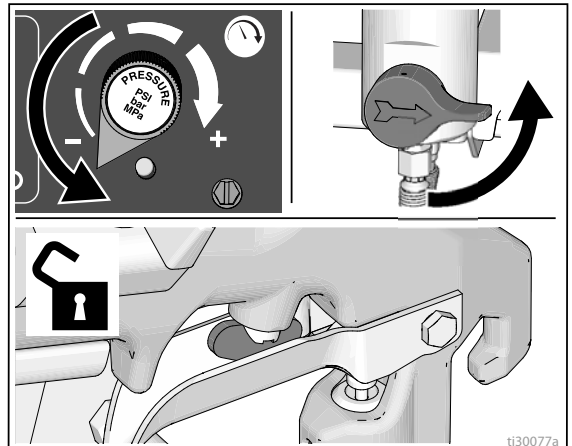
**注**

液体が流れていない状態でポンプを動作させないでください。パッキンが損傷する可能性があります。

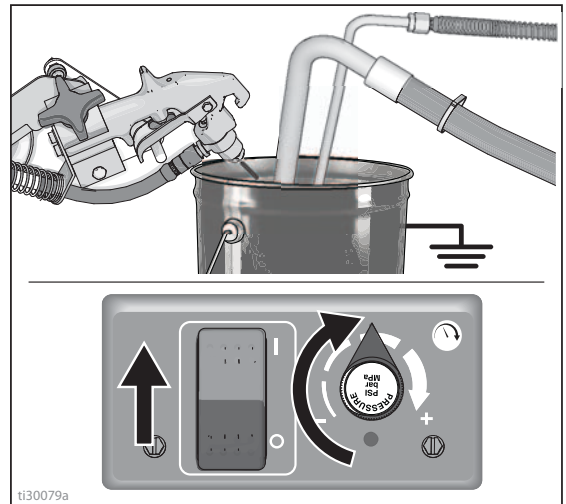
7. ポンプスイッチをオフにします。圧力をポンプの始動に十分な程度に増加させます。液体を 15 秒間循環させます。



8. 圧力を下げ、プライムバルブを閉じます。ガン引き金ロックを外して下さい。



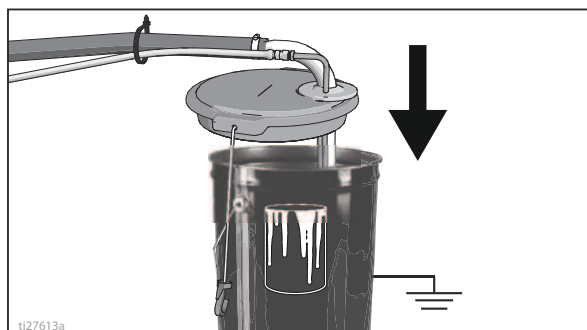
9. ガンを接地した金属製洗浄ペール缶に押し付けます。ガンの引き金を引き、ポンプがスムーズに作動するまで液体圧力を上昇させます。



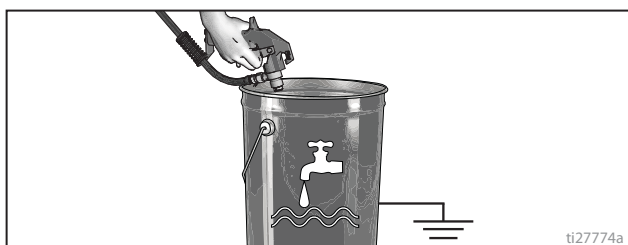
<p>高圧スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす可能性があります。手や雑巾で漏れを止めようとしないでください。</p>			

10. 取り付け金具に漏れがないか点検します。手や雑巾で漏れを止めないでください！ 漏れが発生した場合には、ストライパーを直ちにオフにしてください。接地手順 (引火性材料のみ)、ページ 8 を実行してください。漏れのある金具を締めます。始動の手順 1～7 を繰り返します。漏れがない場合、ガンの引き金を引き続けて装置を完全に洗浄します。手順 8 に進みます。

11. サイフォンチューブを塗料ペール缶に入れます。



12. 塗料が出てくるまで、再度洗浄液ペール缶の中に向けてガンの引き金を引きます。RAC チップと RAC ガードを組み立てます。

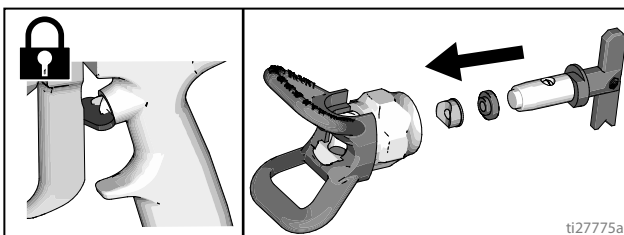


## RAC チップおよび RAC ガードの組み立て

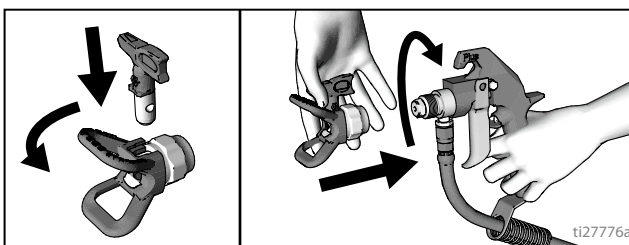
<p>噴射によって皮膚に重傷を負うことを避けるため、スプレーチップやチップガードを取り付けたり、取り外したりするときには、スプレーチップの前に手を置かないでください。</p>				

スプレーチップの漏れを防ぐため、指定のスプレーチップとチップガードが適切に取り付けられていることを確認してください。

1. 圧力開放手順 8 を実行してください。
2. 引き金をロックします。シートと RAC チップシールを挿入します。RAC チップを挿入します。



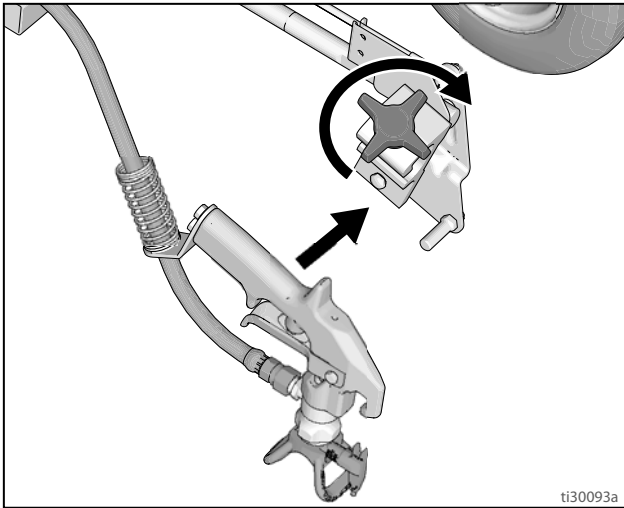
3. アセンブリをガンにねじ込みます。手で締めます。



## ガンの配置

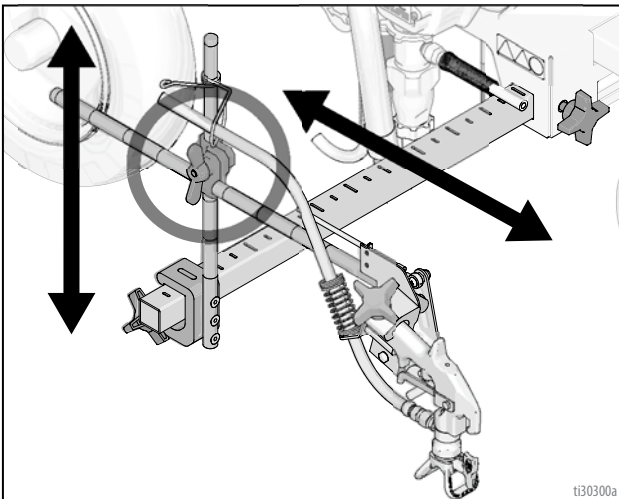
### ガンの取り付け

1. ホースガードをホルダーアセンブリのブラケットに押しつけながら、ガンをガンホルダーに挿入します。ガンをクランプに固定します。

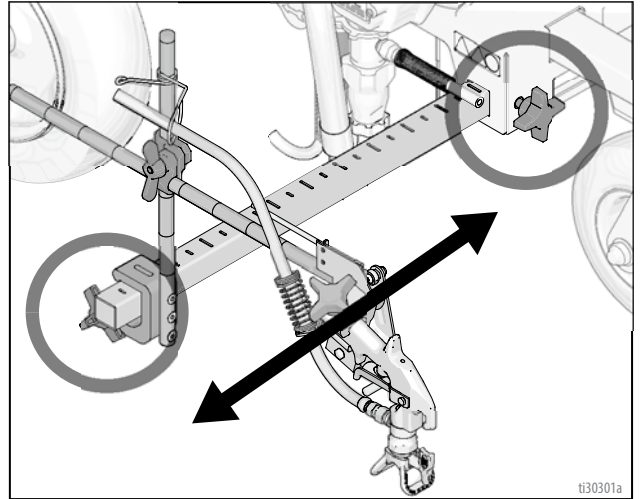


### ガンの位置調整

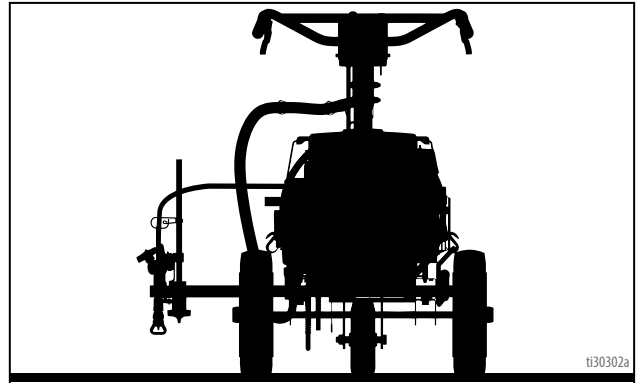
2. ガンの位置を上下、前後、左右に向けます。



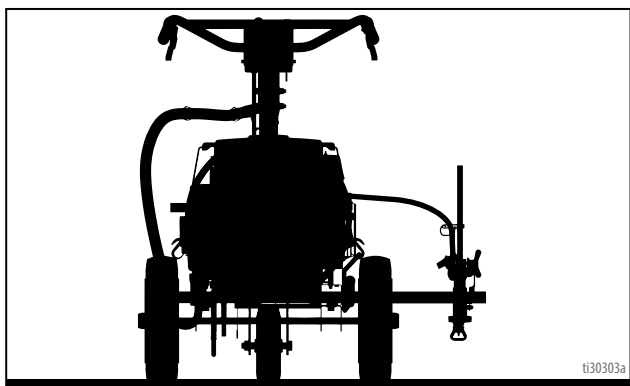
3. ガンの位置を左右に向けます。



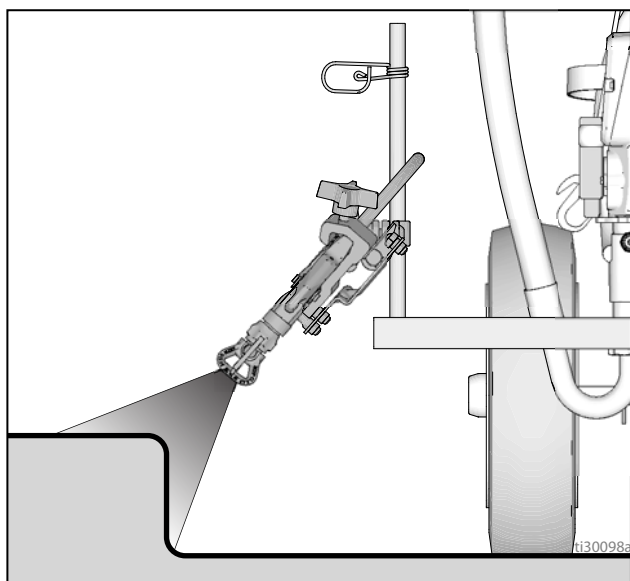
- a. ガンを右側に配置する場合：ガンおよび関連ハードウェアを右側に配置します。



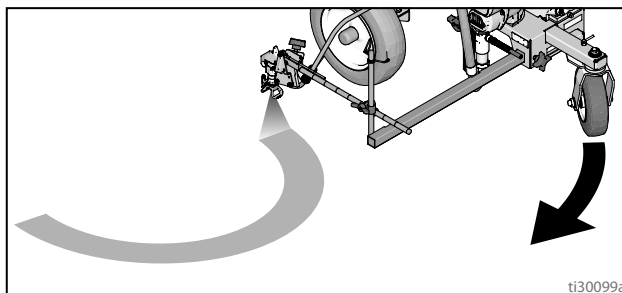
- b. ガンを左側に配置する場合：ガンおよび関連ハードウェアを左側に配置します。



4. カーブ位置の場合、ガンを45°の角度に配置します。



5. ガンアークスプレー位置の場合、ガンをストライパーの後部に配置します。後部位置にセットするとアーク品質が向上します。

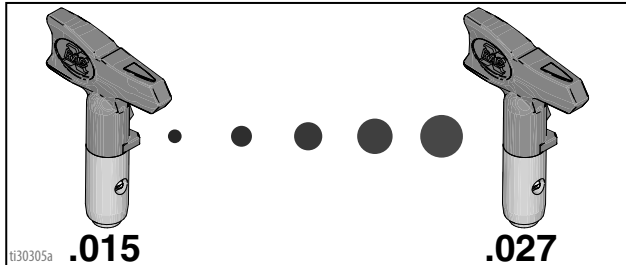
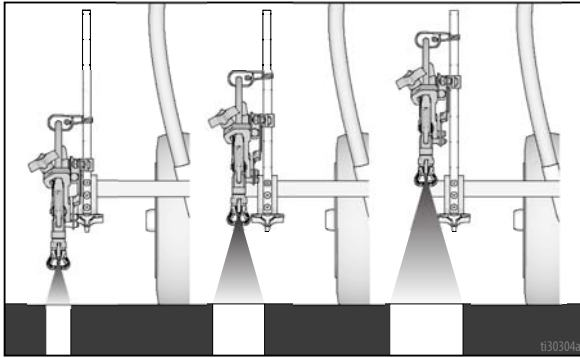


設置後に、ガンの引き金を引くことができ、引き金ロックをかけられることを確認してください。必要に応じて調整します。



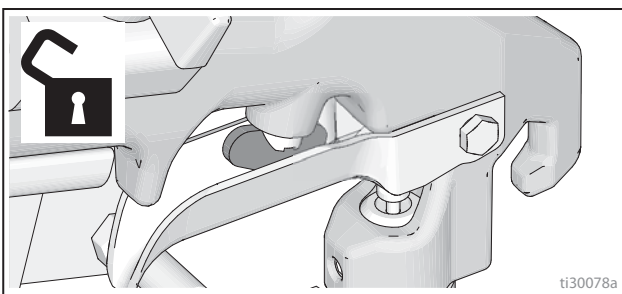
## 塗料のストライプ幅

1. ガンを上下に調節して塗料のストライプ幅を変更します。希望の幅を確保できない場合は、先端を交換します。

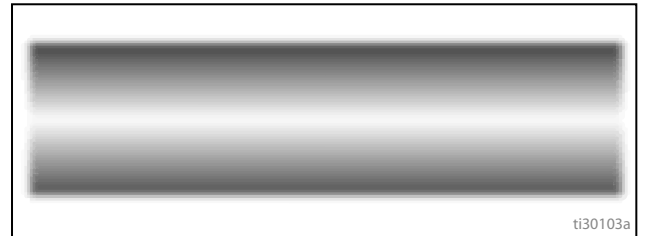


## テスト用ストライプのスプレーを行います

1. 引き金ロックを解除します。



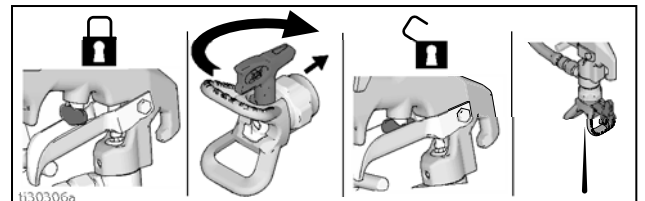
2. ガンの引き金を引き、テストパターンのスプレーを行います。ヘビーエッジを除去するためゆっくりと圧力調整を行います。圧力を調整してもヘビーエッジが除去されない場合は小さいサイズのチップを使用してください。



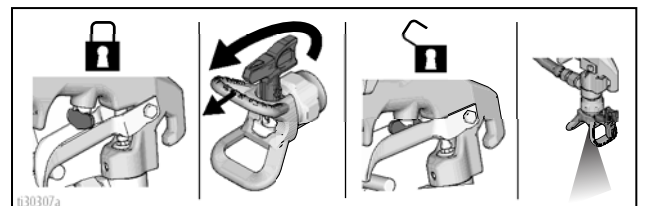
## チップの詰まりの除去



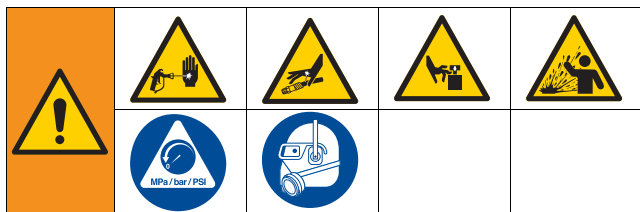
1. 引き金を放します。ガン引き金ロックをかけます。RAC 先端を回転します。ガンの引き金ロックを外し、ガンの引き金を引いて詰まりを除去します。



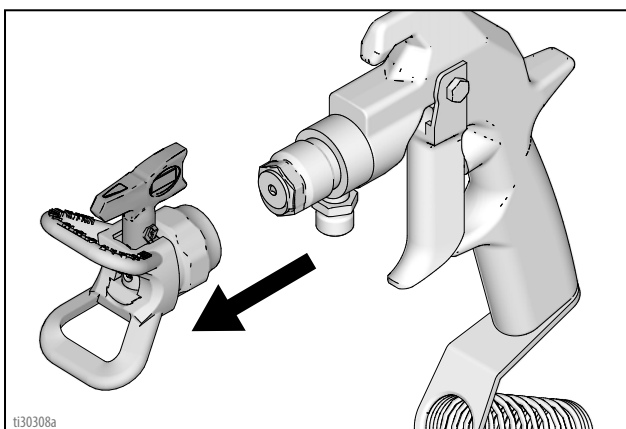
2. ガンの引き金ロックを掛け、RAC 先端を元の位置に戻します。ガンの引き金ロックを外し、スプレーを続行します。



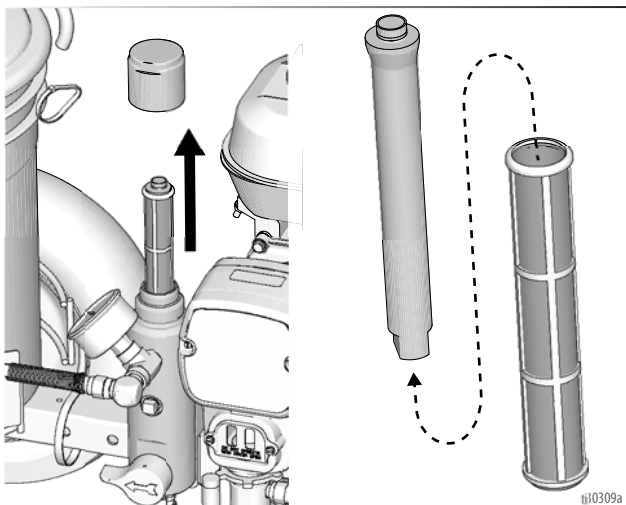
# 清掃



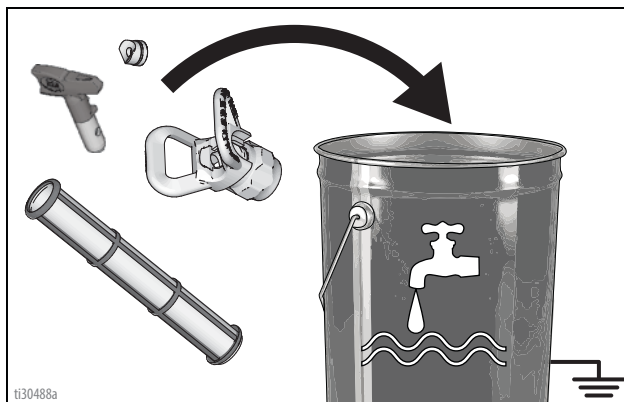
1. 圧力開放手順を実行してください。  
圧力開放手順 (8 ページ)
2. RAC ガードと RAC チップを外します。



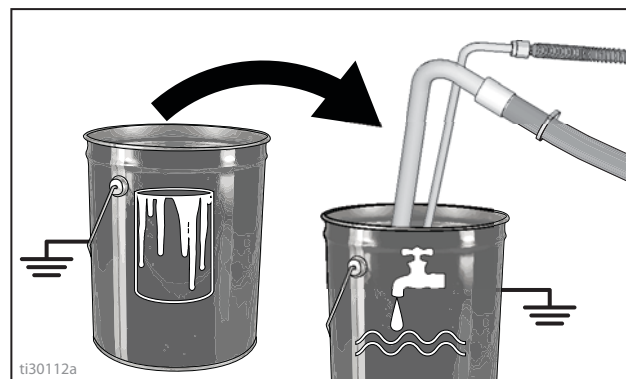
3. キャップを緩め、フィルタを外します。フィルタを付けずに組み立てます。フィルタを清掃してください。



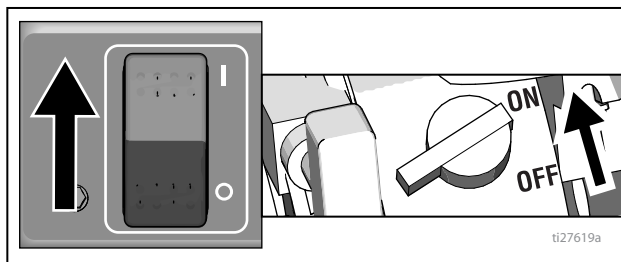
4. ガンフィルタ、RAC チップガードおよび RAC チップを洗浄液で清掃します。洗浄に関する推奨事項、ページ 21 を参照してください。



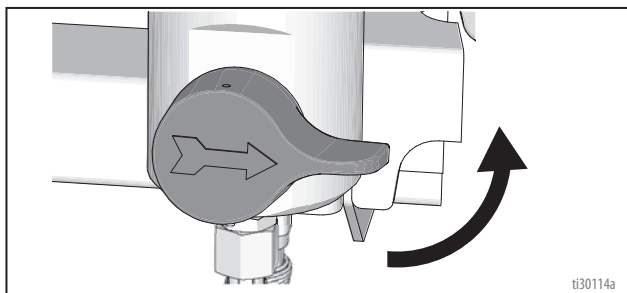
5. 塗料からサイフォンチューブを取り出し、洗浄用液体の中に入れます。水性塗料の場合には水またはポンプコンディショナーを、油性塗料の場合にはミネラルスピリットを使用します。



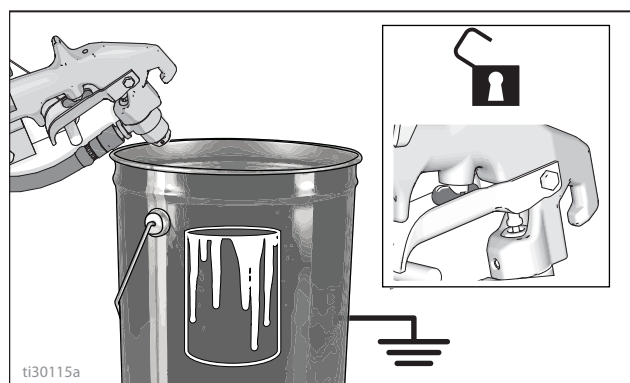
6. エンジンを オン にし、始動させます。ポンプスイッチを オン にします。



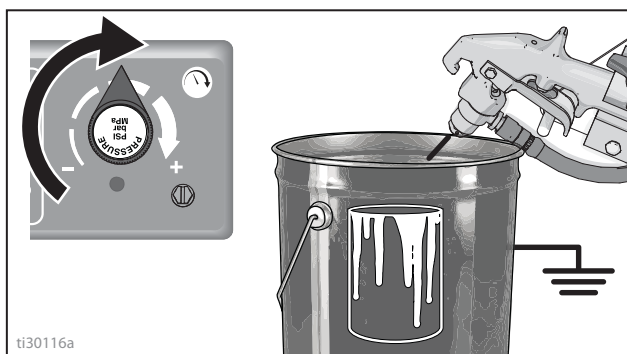
7. プライムバルブを締めます。



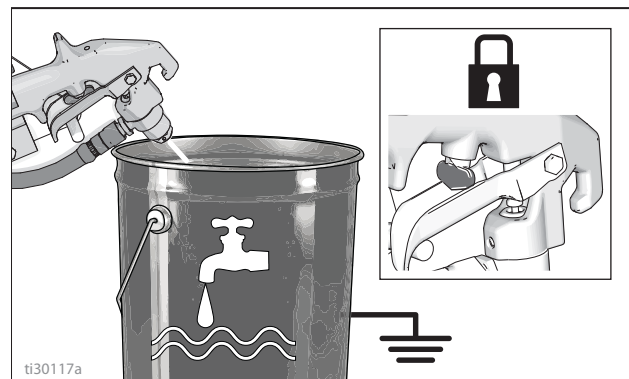
8. ガンを塗料ペール缶に向けて握ります。ガン引き金ロックを外して下さい。



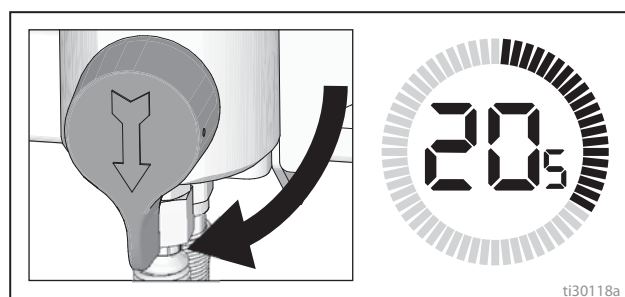
9. モーターがポンプを駆動するようになるまで圧力コントロールを少しずつ上げます。洗浄液が出てくるまでガンの引き金を引きます。



10. ガンを洗浄用容器に移動して、ガンを容器に向け、ガンの引き金を引いてシステムを十分に洗浄します。引き金を解放し、次に引き金ロックを掛けます。



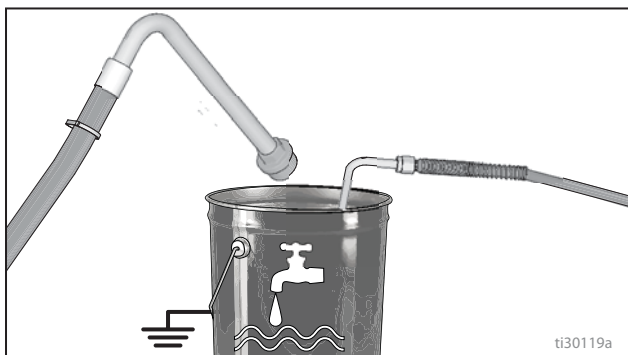
11. プライムバルブを開き、フラッシング液を 20 秒間循環させ、ドレンチューブを清掃します。



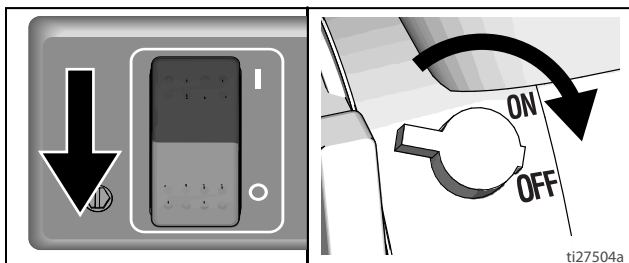
**注**

液体が流れていない状態でポンプを動作させないでください。パッキンが損傷する可能性があります。

12. サイフォンチューブをフラッシング液から引き上げ、ストライパーを 15 から 30 秒間作動させ、液体を排出します。



13. ポンプスイッチを オフ にします。エンジンを オフ にします。

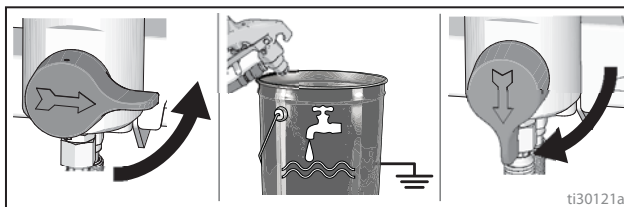


**注**

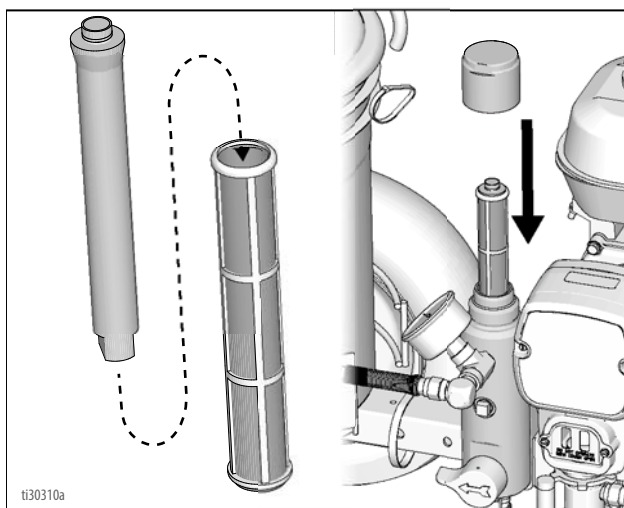
洗浄に水を使用した場合は、スプレーヤー内に長い間水分を残さないでください。ポンプアーマーで再度洗浄し、スプレーヤー内を保護コーティングされた状態にします。これにより、凍結または腐食を防ぎ、スプレー装置の寿命を伸ばすことができます。



14. プライムバルブを締めます。洗浄用ペール缶に向けてガンの引き金を引き、ホース内の液体を排出します。プライムバルブを開きます。

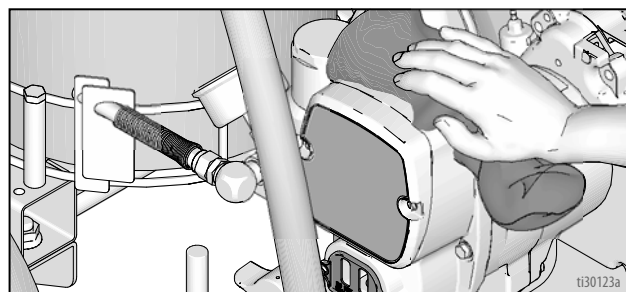


15. フィルターをフィルターボールに取り付けます。プラスチックの中央チューブがしっかりと固定されていることを確認してください。



16. 柔らかい毛のブラシで RAC チップ、RAC ガード およびガスケットの汚れを除去し、乾燥した材料による部品の故障を防止します。部品を組立て、ガンに緩く取り付けます。

17. ストライパー、ホースおよびガンの水またはミネラルスピリットを染み込ませた雑巾で拭きます。



## 洗淨に関する推奨事項

下記を実行する場合：	以下による洗淨：	以下による プライミング：	以下による清掃：	以下による 保管：
新しいスプレーヤーまたは保管されているスプレーヤーで噴霧する	水またはミネラルスピリットなどの適合溶剤	水性や油性などの適合塗料	水またはミネラルスピリットなどの適合溶剤	ミネラルスピリット
水性塗料をスプレー	温水、石鹼水を使用後、きれいな水で洗淨	水性塗料	温水、石鹼水を使用後、きれいな水で洗淨	ミネラルスピリット
油性塗料をスプレー	ミネラルスピリット	油性塗料	ミネラルスピリット	ミネラルスピリット
水性から油性塗料	温水、石鹼水を使用後、きれいな水で洗淨	ミネラルスピリット	ミネラルスピリット	ミネラルスピリット
油性塗料から水性塗料に変更	ミネラルスピリット、石鹼水を使用後、きれいな水で洗淨	水性塗料	温水、石鹼水を使用後、きれいな水で洗淨	ミネラルスピリット
色を変更、塗料に変更なし	水またはミネラルスピリットなどの適合溶剤			

# トラブルシューティング



問題	原因	解決策
エンジンが始動しない	エンジンスイッチがオフです。	エンジンスイッチをオンにします。
	エンジンがガソリン切れです。	ガスタンクに再注油してください。ホンダエンジン取扱説明書を参照してください。
	エンジンオイル量が少ない	オイル量を点検してください。必要な場合は、オイルを再充填してください。ホンダエンジン取扱説明書を参照してください。
	スパークプラグが外れているか、または破損しています。	スパークプラグケーブルを接続するか、またはスパークプラグを交換してください。
	エンジンが冷たい。	チョークを使用してください。
	燃料シャットオフレバーがオフになっている。	レバーをオンの位置にしてください。
	オイルが燃焼チャンバに漏れる。	スパークプラグを外してください。スターターを3、4回引きます。スパークプラグを清掃するか、または交換してください。エンジンを始動させます。オイルが漏出ないようにスプレーヤーを真っ直ぐに立てます。
エンジンは動作するが、置換ポンプが動作しない。	ポンプスイッチがオフになっています。	ポンプスイッチをオンにしてください。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力調整ノブを時計方向に回し、圧力を上げてください。
	液体フィルタ (104) が汚れている。	フィルタを清掃してください。18 ページ。
	チップが詰まっている。	チップを洗浄してください。17 ページ。
	乾燥した塗料排気で置換ポンプのピストンロッドが詰まっている。	ポンプを修理してください。取扱説明書 309250
	接続用ロッドが磨耗または損傷している。	接続用ロッドを交換してください。24 ページ。
	ドライブハウジングが磨耗または損傷している。	ドライブハウジングを交換してください。24 ページ。
	電力がクラッチフィールドに供給されていない。	配線をチェックしてください。32 と 42。圧力制御修理を参照してください。32 ページ。配線図を参照してください。42 ページ。ポンプスイッチをオンにした状態で圧力を最高にし、テストライトを使用して制御盤上のクラッチテストポイント間の電源を調べます。制御盤からクラッチワイヤーを外して、クラッチコイル間の抵抗を測定します。約 20 °C (70 °F) において、抵抗は、1.2 + 0.2 オームの間になければなりません。そうでない場合は、ピニオンハウジングを交換してください。圧力制御の点検は認定 Graco 販売代理店が行います。
	クラッチが磨耗または損傷しているか、または位置が正しくない	クラッチを調整または交換してください。27 ページ。
ピニオンアセンブリが磨耗または損傷している。	ピニオンアセンブリを修理または交換してください。27 ページ。	



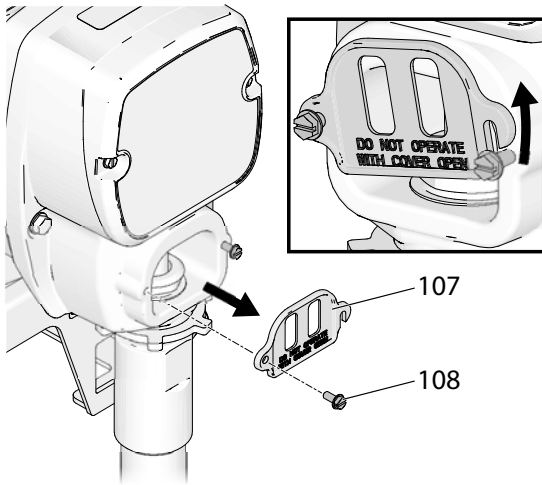
問題	原因	解決策
ポンプ出力が低い	ストレーナー (56) が詰まっている。	ストレーナーの汚れを除去してください。
	ピストンボール (206) が固定されていない。	ピストンボールのサービス作業を行ってください。取扱説明書 309250
	ピストンのパッキンが磨耗または損傷している。	パッキンを交換してください。取扱説明書 309250
	ポンプの O リング (227) が磨耗または損傷している。	O リングを交換してください。取扱説明書 309250
	吸入バルブボールが正しく固定されていない。	吸入バルブの汚れを除去してください。取扱説明書 309250
	吸入バルブボールが材料の為に詰まっている。	吸入バルブの汚れを除去してください。取扱説明書 309250
	エンジンの回転数が低過ぎる。	スロットル設定を高くしてください。
	クラッチが磨耗または損傷している。	クラッチを調整または交換してください。ページ 9
	圧力設定が低過ぎる。	圧力を高くしてください。
	液体フィルタ (104)、またはチップが詰まっているか汚れている。	フィルタを清浄するか、チップをきれいにしてください。
	粘性の高い材料使用時のホースの大幅な圧力低下。	大きな直径のホースを使用するかまたはホース長を短くするか、またはその両方を行います。1/4 インチで 100 ft より長いホースを使用するとスプレーヤの性能が著しく低下します。最適な性能を得るには、3/8 インチのホースを使用します (最小 50 ft)。
スロートパッキンナットへ塗料が過度に漏れる	スロートパッキンナットが緩んでいます。	スロートパッキンナットスペーサーを外します。漏れが止まる程度までスロートパッキンナットを締めます。
	スロートパッキンが磨耗または損傷している。	パッキンを交換してください。取扱説明書 309250
	置換ロッドが磨耗または損傷している。	ロッドを交換してください。取扱説明書 309250
ガンから液体が出ている。	ポンプまたはホース内に空気が入っています。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めてください。ポンプを再度プライムします。
	チップの一部が詰まっている	チップの詰まりを除去します。17 ページ。
	供給する液が少ないか、または空になっている	液体供給を補充します。ポンプをプライムします。液体供給の点検回数を増やし、空の状態のポンプを運転しないようにしてください。
ポンプのプライムが困難	ポンプまたはホース内に空気が入っています。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。エンジン回転数を下げ、プライミング中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	吸入バルブに漏れがある。	吸入バルブの汚れを除去します。ボールシートに切れ目や摩耗がなく、ボールが適切に取りつけられていることを確認します。バルブを再組立します。
	ポンプパッキンが磨耗している。	ポンプパッキンを交換してください。取扱説明書 309250
	塗料の粘度が高すぎる。	塗料販売業者の推奨に従い塗料を希釈してください。
	エンジン回転数が高過ぎる。	ポンプのプライミングの前にスロットル設定を下げてください。
クラッチを使用する度にクラッチが軋む。	両面のかみ合い不良のため、新しいクラッチ表面でノイズが発生する場合があります。	クラッチ表面を磨耗させる必要があります。運転開始から 1 日後にはノイズは出なくなります。
エンジンの無負荷回転数が高い。	スロットル設定の調整不良。	スロットルを無負荷 3300 エンジン rpm に再設定してください。
	エンジンガバナが磨耗している。	エンジンガバナの交換またはサービス作業を行ってください。

# 置換ポンプ

## 取り外し

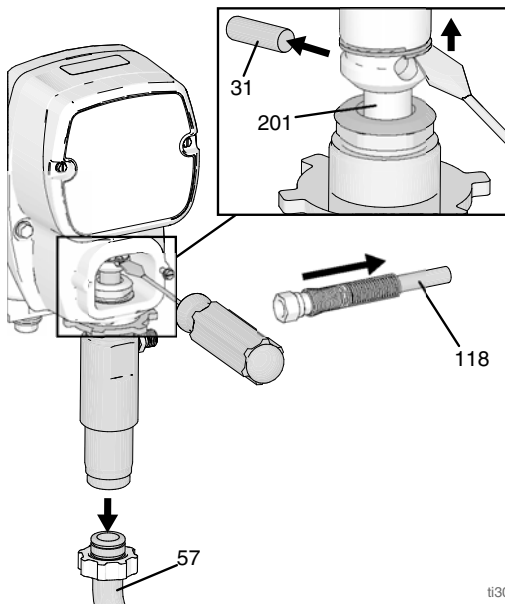


1. ピストンロッド (201) が最低位置に来た状態でポンプを停止させます。
2. 圧力開放手順、ページ 9) を実施してください。
3. 2本のネジ (108) を緩め、ポンプロッドカバー (107) を外します。



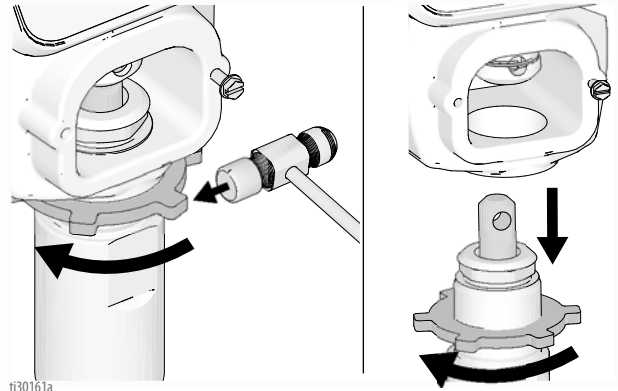
ti30159a

4. ホース (118) および吸い込みホース (57) を取り外します。ドライバーでドライバーで、ピン (31) を押し出します。



ti30160a

5. ハンマーでしっかり打ち込んで、差し込みナットを緩めます。ネジを外してポンプを外します。



ti30161a

## 修理

ポンプ修理説明に関しては取扱説明書 309250 を参照してください。

## 取り付け

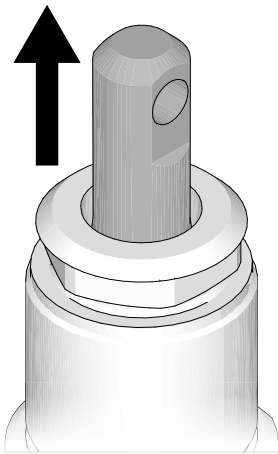


ピンが緩んでいる場合、ポンプの動きにより部品が破損する可能性があります。部品が空気中に飛び出すこともあり、人身事故や物損事故を招く恐れがあります。ピンとリテーナーリングが適切に取り付けられていることを確認してください。

## 注

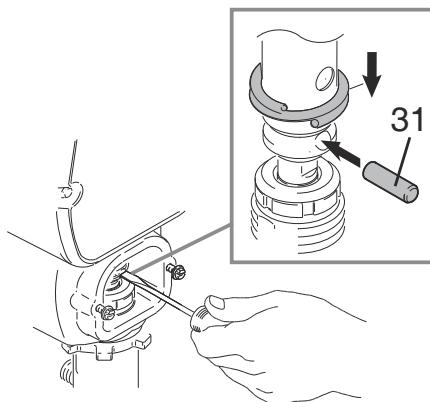
運転中ポンプの差し込みナットが緩むと、軸受ハウジングおよびドライブスレッドが損傷します。ジャムナットは説明通りに締めるようにしてください。

1. ピストンロッドを記載の距離まで引きます。接続用ロッドおよびピストンロッド穴の位置が揃うようポンプをねじ込みます。



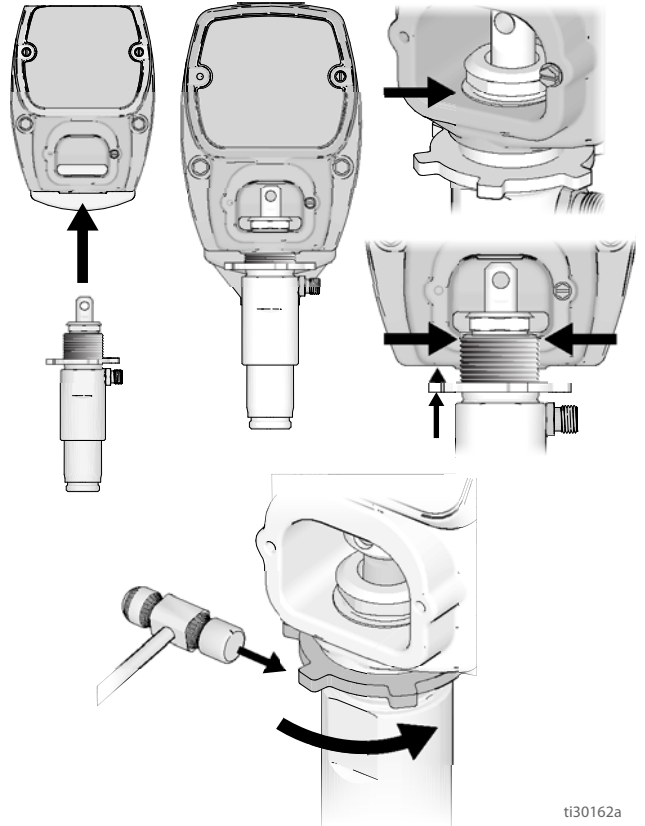
ti30163a

2. ピン (31) を穴に押し込みます。リテーナーリングの springs を接続用ロッド全体のネジ溝に押し込みます。



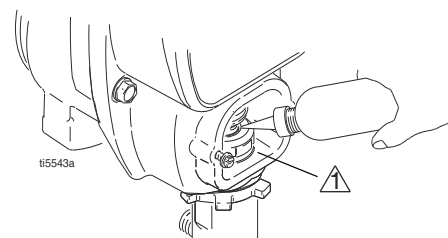
ti30130a

3. 差し込みナットが回らなくなるまで、ポンプのナットをネジで締めます。ポンプ上側のネジ部がドライブハウジング面に揃うまで、ポンプをドライブハウジングにねじ込みます。ポンプおよび差し込みナットを引き、ポンプ出口を側面に合わせます。手で差し込みナットを締め、(最高で) 20 oz のハンマーを使用して約  $75 \pm 5$  ft-lb (102 N·m) のトルクで叩き、1/8 から 1/4 回転させます。ホース (118) および吸い込みホース (57) を接続します。



ti30162a

4. シールから溢れるまでパッキンナットに TSL を注入します。ポンプロッドカバー (107) を取り付けます。



ti5543a

⚠ ドライブハウジング表面

# ドライブハウジングおよび接続ロッド

## 取り外し



1. 圧力開放手順、ページ 9) を実施してください。
2. ネジ (108) およびフロントカバー (52) を取り外します。
3. ポンプを外します。置換ポンプ、取り外し 24 を参照してください。
4. ドライブハウジングから 4 本のネジ (34) を外します (43)。

### 注

スラストワッシャはドライブハウジング内部のグリースに付着していることがあります。取り忘れ、または置き間違えに注意して下さい。

5. 接続ロッド (29) を引出した後、プラスチックのマレットで軸受ハウジング (43) 下部背面を軽く叩き、ピニオンハウジング (44) から緩めます。軸受ハウジングおよび接続ロッドアセンブリをピニオンハウジングから引いて外します。
6. 過度に磨耗する場合は、クランク (47) および接続ロッド (29) を点検し、必要に応じて部品交換を実施します。

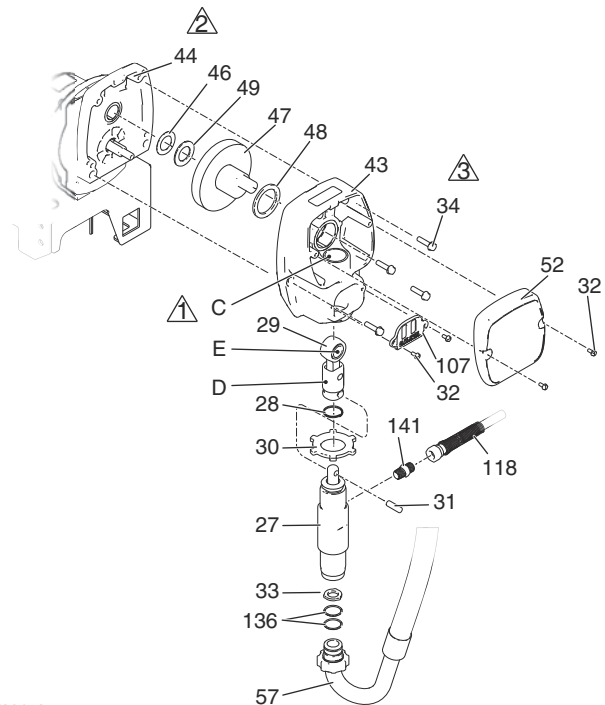
## 取り付け

1. ドライブハウジング (43) のブロンズ軸受 (C) 内部に、高品質モーターオイルを均等に塗布します。軸受グリースを接続ロッド (29) 内部の上部ローラー軸受 (E) および下部軸受 (D) に十分注入します。
2. 接続ロッド (29) をドライブハウジング (43) に取り付けます。接続ロッド最下部位置まで回転させます。
3. グリースをワッシャ 46、49 および 48 に塗布します。図示されている順序で取り付けます。
4. ギアに 0.26 パイントの 110293 グリース (ドライブハウジングに付属) を塗布します。ギアの周りにグリースを均等に施します。
5. ピニオンハウジングとドライブハウジングのはめ合い面の汚れを除去します。
6. 接続用ロッドをクランク (47) に合わせた後、ドライブハウジング (43) の位置決めピン (F) をピニオンハウジング (44) の穴に注意深く合わせます。ドライブハウジングをピニオンハウジングに押し込むか、またはプラスチックのマレットで軽く叩き所定の位置に取り付けます。

### 注

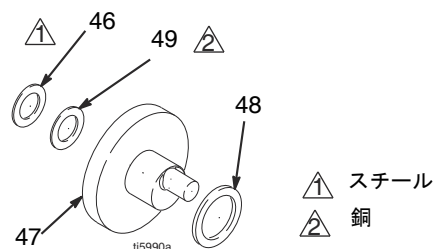
ドライブハウジングのネジ (34) で軸受ハウジングとドライブハウジングの位置合わせを行ったり、固定したりしないで下さい。位置決めピンを使用してこれらの部品の位置を合わせてください。軸受の早期の磨耗を防ぐために重要です。

7. ドライブハウジングにネジ (34) を取り付けます。
8. ポンプを取り付けます。置換ポンプ、取り外し 25 を参照してください。
9. 2 本のネジ (108) でフロントカバー (52) を取り付けます。



ti30158a

- △ オイル
- △ ベアリンググリース 110293 を注入します
- △ 14 - 16.9 N.m (130 - 150 インチ・ポンド) のトルクで締めます



ti5990a

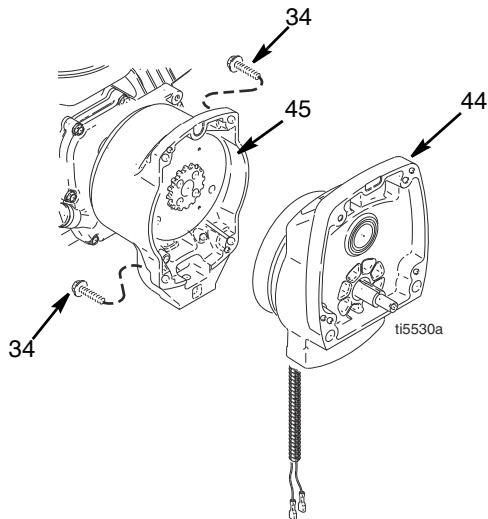
# ピニオンアセンブリ / クラッチアーマチュア / クランプ

## ピニオンアセンブリ / クラッチアーマチュアの取り外し

### ピニオンアセンブリ

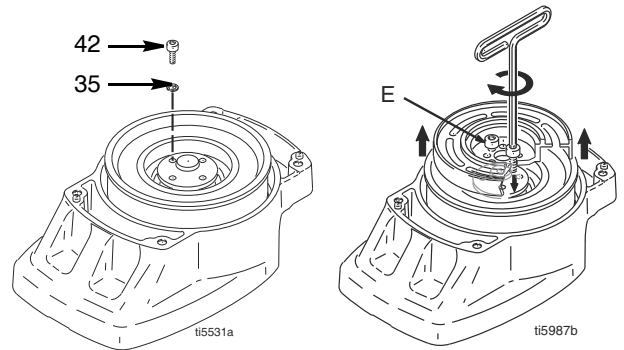
ピニオンアセンブリ (44) がクラッチハウジング (45) から取り外されていない場合は、1 から 3 を実行します。取り外されている場合は 4 から開始します。

1. 圧力開放手順、ページ 9) を実施してください。
2. ドライブハウジングを取り外します 26。
3. スプレーヤーカートの下にあるワイヤハーネスから、クラッチ (+) とクラッチ (-) コネクタを外します。
4. 4 本のネジ (34) および ピニオンアセンブリ (44) を取り外します。

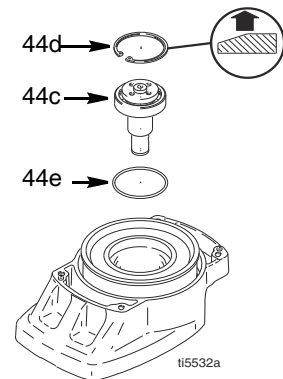


5. ピニオンアセンブリ (44) を、ロータを上にしてベンチ上に置きます。

6. 4 本のネジ (42) およびロックワッシャ (35) を取り外します。2 本のネジをロータのネジ穴 (E) に取り付けます。ロータが外れるまで交互にネジを締めます。

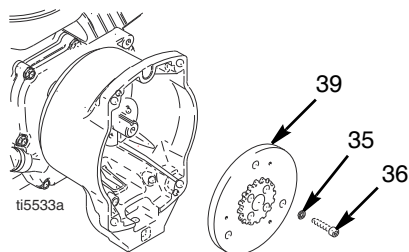


7. リテーナーリング (44d) を外します。
8. ピニオンアセンブリを回転させ、ピニオン軸 (44c) をプラスチックのマレットで叩きます。



## クラッチアーマチュア

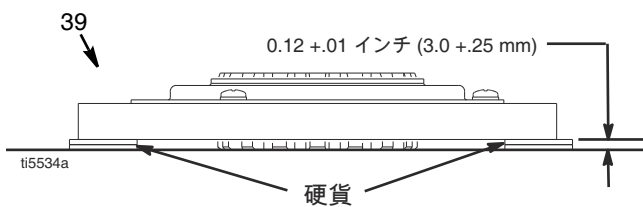
9. クラッチアーマチュア (39) とクラッチハウジングの間にインパクトレンチまたはくさび状のものを差し込んで、取り外し中にエンジン軸が支えられるようにします。
10. 4本のネジ (36) およびロックワッシャ (35) を取り外します。
11. アーマチュア (39) を外します。



## 取り付け

### クラッチアーマチュア

1. 滑らかなベンチ表面上に、硬貨2枚を重ねたものを2組用意します。
2. アーマチュア (39) を2組の硬貨の上に置きます。
3. ハブの中央をベンチ表面に押し付けます。



4. アーマチュア (39) をエンジンドライブ軸に取り付けます。
5. 4本のネジ (36) およびロックワッシャ (35) を125 in-lb のトルクで締めます。

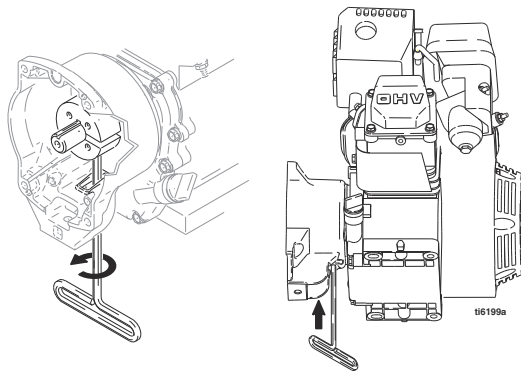
### ピニオンアセンブリ

6. Oリング (44e) を取り付けます。
7. ピニオン軸 (44c) をプラスチックのマレットで叩きます。
8. 斜めの面を上にしてリテーナーリング (44d) を取り付けます。
9. ロータを上にしてピニオンアセンブリ をベンチに取り付けます。
10. ネジにロックタイトを塗布します。4本のネジ (42) およびロックワッシャ (35) を取り付けます。ロータが固定されるまで125 in-lb のトルクでネジを締めます。ロータはネジ穴を使用して固定します。
11. 4本のネジ (18) で制御ボード (44) を取り付けます。
12. クラッチ (+) とクラッチ (-) コネクタをワイヤハーネスに接続します。



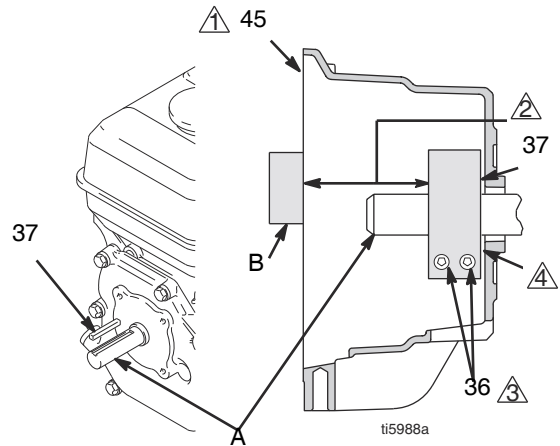
## クランプの取り外し

1. エンジンを取り外します。エンジンの取り外し 30 を参照してください。
2. ホンダの取扱説明書に従ってタンクからガソリンを排出します。
3. エンジンを傾けると、ガスタンクが下向きになりエアクリーナが上面に向きます。
4. クランプ (38) の 2 本のネジ (36) を緩めます。
5. ドライバーをクランプ (38) のスロットに差し込んで、クランプを外します。



## クランプの取り付け

1. エンジン軸キー (37) を取り付けます。
2. クランプ (38) を叩いてエンジン軸 (A) にはめ込みます。注 2 に示されている寸法を維持します。溝のある側がエンジンに向いている必要があります。
3. 寸法をチェックします。クラッチハウジング (45) の表面に剛体の真っ直ぐな棒鋼 (B) を取り付けます。正確な測定器を使用して棒鋼とクランプの表面の間の距離を測定します。必要に応じてクランプを調節して下さい。2 本のネジ (36) を  $14 \pm 1.1 \text{ Nm}$  ( $125 \pm 10 \text{ in-lb}$ ) のトルクで締めます。



⚠ クラッチハウジング表面

⚠  $39.37 \pm .25 \text{ mm}$  ( $1.550 \pm .010 \text{ in.}$ )

⚠  $14 \pm 1.1 \text{ Nm}$  ( $125 \pm 10 \text{ in-lb}$ ) のトルクで締めます

⚠ この面の溝

# クラッチハウジング

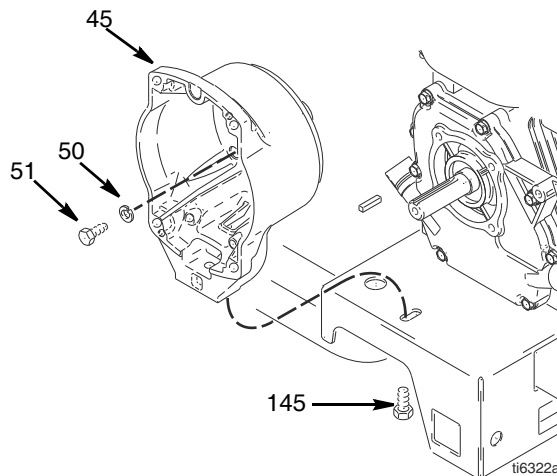
## 取り外し

1. クランプを外します。クランプの取り外し 29 の手順を実行します。
2. クラッチハウジング (45) を エンジンに固定している 4 本のネジ (51) およびロックワッシャ (50) を外します。
3. 取り付けプレートの下からネジ (145) を外します。
4. クラッチハウジング (45) を外します。

## 取り付け

1. クラッチハウジング (45) を押します。
2. 4 本のネジ (51) およびロックワッシャ (56) を取り付け、クラッチハウジング (45) をエンジンに固定します。22.6 N·m (200 in-lb) のトルクで締めます。

3. 取り付けプレートの下からネジ (145) を取り付けます。35.2 N·m (26 ft-lb) のトルクで締めます。

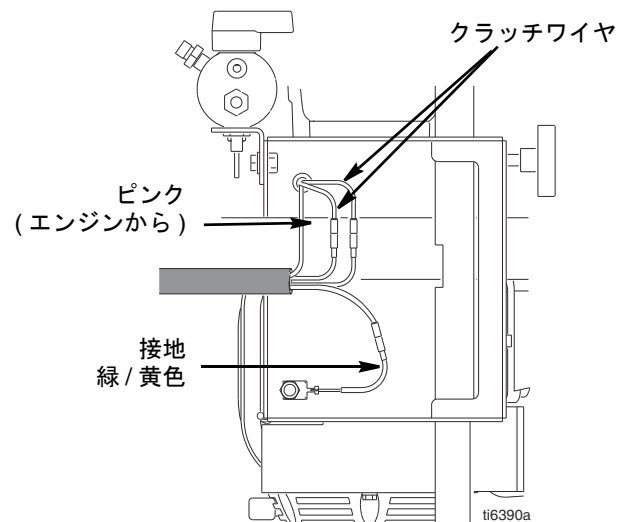
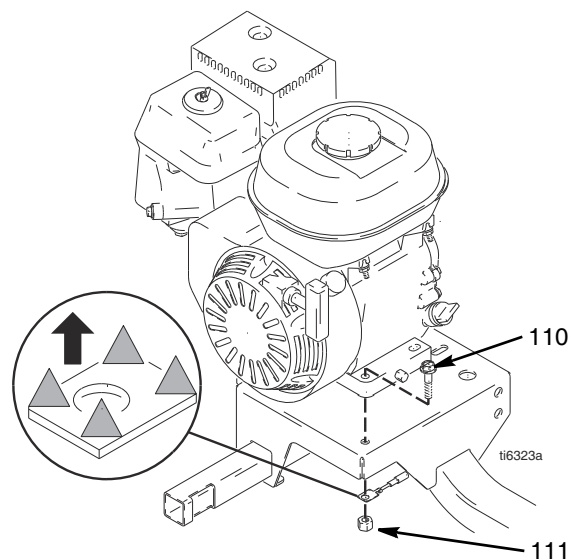


# エンジン

## 取り外し

注：エンジンのすべての整備は ホンダ認定販売代理店が行う必要があります。

1. ピニオンアセンブリ/クラッチアーマチュア/クランプ および クラッチハウジングを、27、29、30 の説明に従って取り外します。
2. 必要なワイヤの接続をすべて外します。
3. エンジン基部から 2 本のロックナット (111) およびネジ (110) を外します。
4. エンジンを慎重に持ち上げ、作業ベンチに置きます。



## 取り付け

1. エンジンを慎重に持ち上げ、カートに置きます。
2. エンジン基部に 2 本のネジ (110) を取り付け、ロックナット (111) で固定します。20 ft-lb (27.12 N·m) のトルクでネジを締めます。
3. 必要なワイヤをすべて接続します。
4. ピニオンアセンブリ/クラッチアーマチュア/クランプ および クラッチハウジングを、28、29、30 の説明に従って取り付けます。

# 圧力制御トランスデューサ

## 取り外し

1. 2本のネジ (108) を取り外し、カバー (62a) を開けます。
2. 制御ボード (62e) からトランスデューサ (155) を取り外します。
3. ストレインリリーフブッシング (151) からトランスデューサコネクタを引出します。
4. フィルターハウジング (67) から、トランスデューサおよびOリング (99) を取り外します。

## 取り付け

1. フィルターハウジング (67) にOリング (99) およびトランスデューサ (155) を取り付けます。35 ~ 45 ft-lb のトルクで締めます。
2. トランスデューサコネクタおよびストレインリリーフブッシングを制御ハウジングに取り付けます。
3. ケーブル (155) を制御ボード (62e) に接続します。
4. カバー (62a) を閉じ、2本のネジ (108) で締めます。

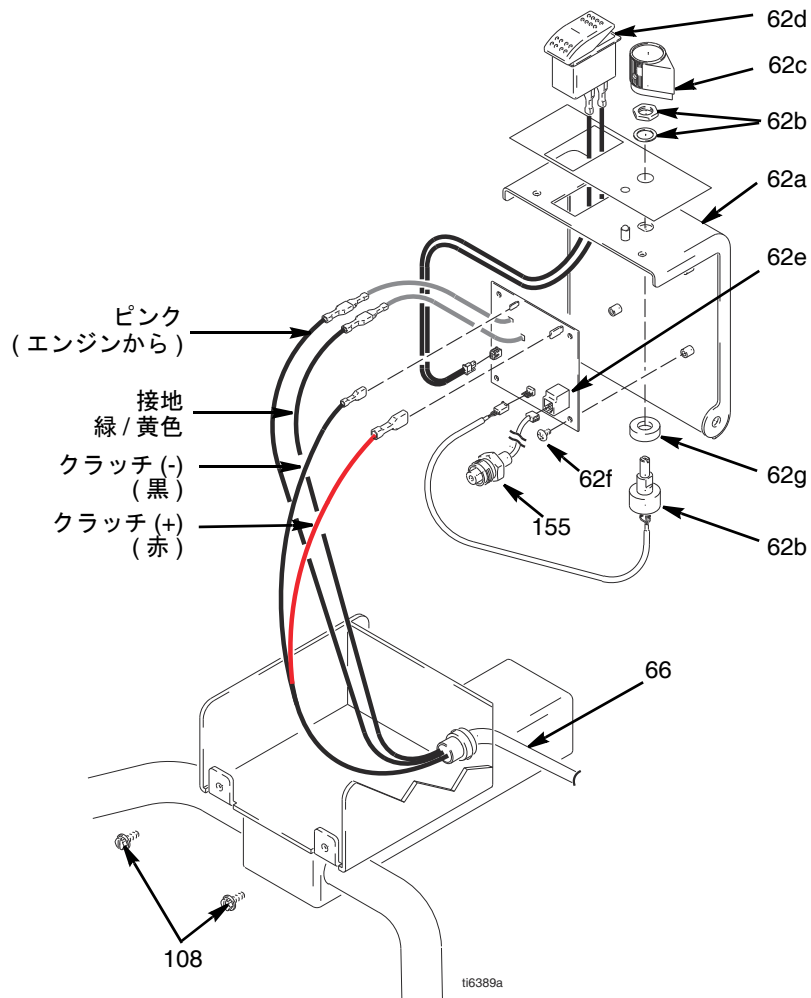
## 圧力制御 (オン/オフスイッチ)

### 取り外し

1. 圧力開放手順、ページ 9) を実施してください。
2. 2本のネジ (108) を取り外し、カバー (62a) を開けます。
3. 圧力制御ボードからオン/オフスイッチのコネクタを外します。
4. ポンプのオン/オフスイッチ (62d) 両側の2個のタブを押してカバーからスイッチを取り外します。

### 取り付け

1. 新しいポンプのオン/オフスイッチ (62d) を取り付けます。スイッチのタブがカバー内部にはめ込まれます。
2. オン/オフスイッチのコネクタ (B) を圧力制御ボードに取り付けます。
3. カバー (62a) を閉じ、2本のネジ (108) で締めます。



# 圧力調節ポテンシオメーター

## 取り外し

1. 2本のネジ (108) を取り外し、カバー (62a) を開けます。
2. ポテンシオメーター (62b) のケーブルを制御ボード (62e) から外します。
3. ポテンシオメーターノブ (62c) の取り付けネジを緩め、ノブを取り外します。軸ナット、ロックワッシャおよびポテンシオメーター (62b) を外します。
4. ポテンシオメーターから軸スペーサー (62g) を外します。

## 取り付け

1. ポテンシオメーター (62b) に軸スペーサー (62g) を取り付けます。
2. ポテンシオメーター、軸ナット、ロックワッシャおよびポテンシオメーターノブ (62c) を取り付けます。
  - a. ポテンシオメーターの軸を内部ストップ位置まで時計回りに回します。ポテンシオメーターノブ (62c) をカバー (62a) のストライクピンに取り付けます。
  - b. 手順 a で調整を行ってから、両方の取り付けネジを軸に接触後 1/4 から 3/8 回回して締め、ノブに取り付けます。
3. ポテンシオメーター (62b) のケーブルを制御ボード (62e) に接続します。
4. カバー (62a) を閉じ、2本のネジ (108) で締めます。

# 制御盤

## 取り外し

1. 2本のネジ (108) を取り外し、カバー (62a) を開けます。
2. ワイヤハーネス (66) から、エンジンおよび接地ワイヤの接続を外します。
3. 制御ボード (62e) の接続を外します：
  - ポテンシオメーター (62b) からのケーブル
  - トランスデューサ (155) からのケーブル
  - オン/オフスイッチ (62d) からのケーブル
  - クラッチワイヤ
4. 4本のネジ (62f) および制御ボード (62e) を外します。

## 取り付け

1. 4本のネジ (62f) で制御ボード (62e) を取り付けます。
2. 制御ボード (62e) を接続します：
  - クラッチワイヤ
  - オン/オフスイッチ (62d) からのケーブル
  - トランスデューサ (155) からのケーブル
  - ポテンシオメーター (62b) からのケーブル
3. エンジンと接地ワイヤを接続します。
4. カバー (62a) を閉じ、2本のネジ (108) で締めます。



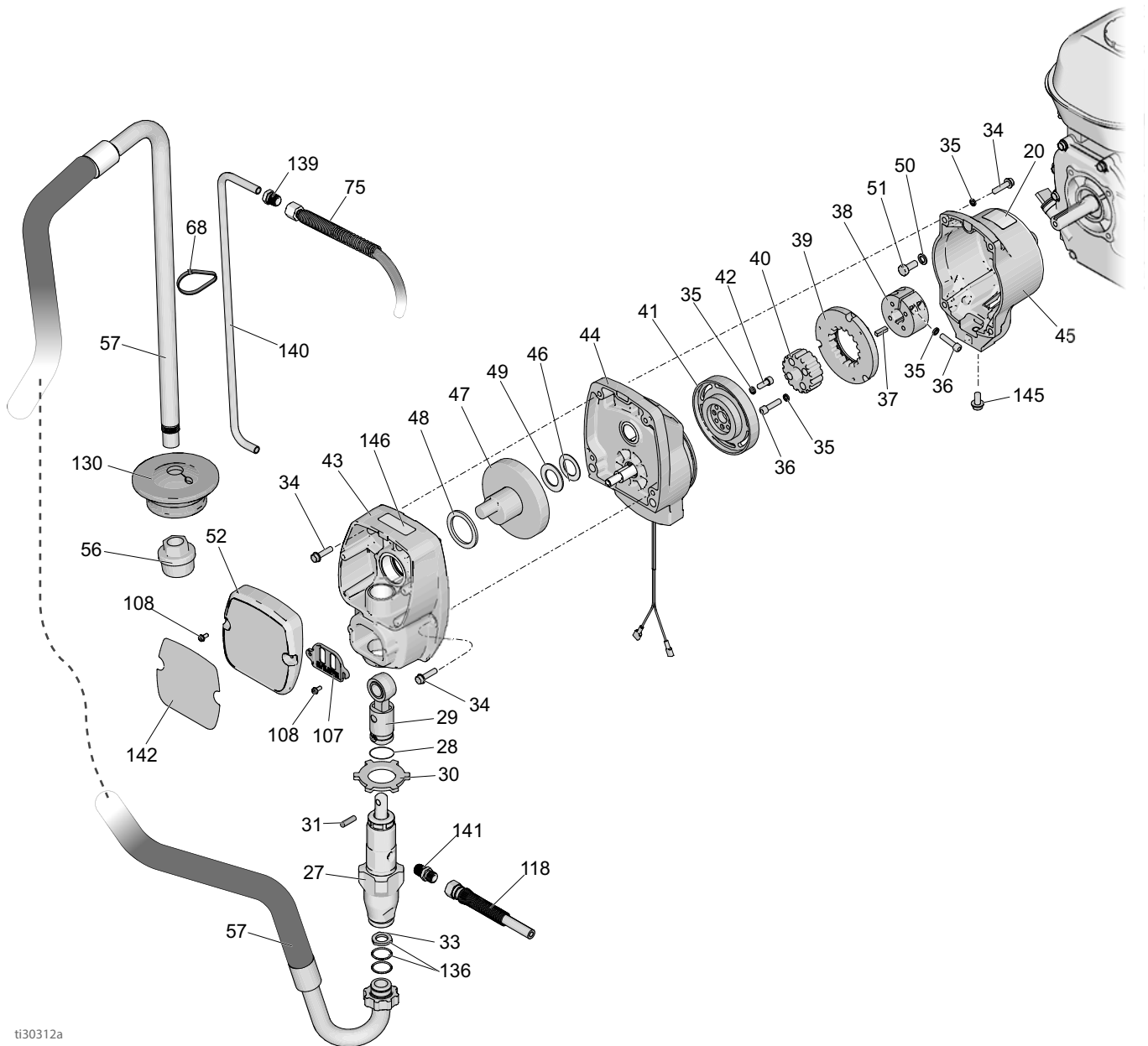
# 部品一覧 - 25M224

参照	部品	説明	数量	参照	部品	説明	数量
1	17N510	フレーム、LL	1	87	111801	ネジ、キャップ、六角ヘッド	4
2	119542	ホイール、小	1	89	17N536	ホルダー、バケツ	2
3	119543	ホイール、大	2	90	15F047	制御、ボックス	1
4	15F127	フォーク、塗装済み	1	91	113665	ネジ、キャップ、六角ヘッド	1
5	119532	軸受、フランジ	2	92	114802	ワイヤ、ストップ	1
6	15E780	ピン、フォーク	1	93	119554	ナット、ロック、ナイロン、シンパターン	4
7	15E773	ディスク、調整装置	1	94	24Z284	バー、ハンドル、LL	1
8	15E792	ピン、レバー	1	96	114271	ストラップ、ホースラップ	1
9	101566	ロックナット	3	97	116935	ネジ、キャップ、flng ヘッド	2
10	114682	スプリング、圧縮	1	108	128978	8 ~ 32 六角ワッシャヘッドネジ	6
11	108471	ノブ、ブロンズ	1	110	112960	ネジ、フランジ、六角	2
13	15E748	ブラケット、マニホールド	1	111	110838	ナット、ロック	2
14	287682	レバー、キヤスター、26 を含む	1	112	122669	ワッシャ、平、極厚	1
15	108879	エンジン、ガソリン、4.0 馬力	1	114	110963	ネジ、キャップ、flng ヘッド	3
	25P295	エンジン、ガソリン、5.5 hp、 ホンダ (中国のみ)	1	115	111040	ナット、ロック、挿入、nylock、5/16 in.	1
16	238049	液体、TSL、4 oz	1	129	101550	ネジ、キャップ、sch	2
18	249080	ホース、カップリング、1/4 in. x 50 ft、 ニッケル	1	130	278723	ガasket、ペール	1
19	24U241	キット、ペール缶カバー	1	131	15C871	キャップ、レッグ	2
25	108538	ネジ、キャップ、平頭	2	132	100731	ワッシャ	2
26	111016	ベアリング、フランジ	1	137	119579	コンダクター、接地	1
53	194310	レバー、アクチュエータ	2	143	17H684	ラベル、LL3400	1
54	115077	ペール、プラスチック	1	144▲	194126	ラベル、警告	1
55	116139	グリップ、ハンドル	2	147	107257	ネジ、ネジ山形成、六角ヘッド	1
59	15E992	ケーブル、ガン	1	148	237686	ワイヤー、クランプ付き接地組立品	1
60	15E993	ロッド、ブレーキ	1	149▲	17K394	ラベル、安全、警告、火災および爆発	1
62	287565	カバー、制御ボックス、アセンブリ	1	150▲	16P136	ラベル、安全、警告	1
64	119563	ワッシャ、さらばね式	4	151	15F928	ブッシング、ストレインリリーフ	1
65	15E996	スペーサー、ホイール	2	153	111025	ガasket、ポリプロピレン	1
66	15E995	ハーネス、配線、制御	1	170	120151	プラグ、チューブ	2
72	17J407	ブラケット、サポート、ガン	1	172	117727	クリップ、ワイヤ	1
74	241445	ケーブル、キヤスター	1	183▲	16W503	ラベル、安全、接地記号	1
81	195134	スペーサー、ボール、ガイド	1	184▲	17K392	ラベル、安全、警告、貫通	1
82	198891	ブラケット、取り付け	1	▲	222385	ラベル、警告、医療用アラート (表示なし)	1
83	198931	ベアリング	1	192	24Z605	アクスル、溶接物	1
84	113961	ネジ、キャップ、六角ヘッド	1	194	112731	ナット、六角、フランジ付き	4
85	867517	ネジ、六角頭、3/8 ~ 16 x 3.5 in.	4	201	129528	ハトメ、分離、1 in. 穴	1
86	111802	ネジ	4				

▲ 交換用の危険性と警告のラベル、タグ、カードは無料で入手できません。



# 部品图



ti30312a

# 部品一覧 - 25M224

参照	部品	説明	数量	参照	部品	説明	数量
20	16D576	ラベル、アメリカ製	1	49	107434	ベアリング、スラスト	1
27	246428	置換ポンプ	1	50	100214	ワッシャ、ロック	4
28	196750	スプリング、保持	1	51	108842	ネジ、キャップ、六角ヘッド	4
29	287053	ロッド、接続	1	52	287487	カバー、前面、塗装	1
30	195150	ジャムナット、ポンプ	1	56	246385	ストレーナー、7/8-14 unf	1
31	196762	PIN、ストレート	1	57	17M875	ホース、サクシオン、33、136 を含む	1
33†	115099	ワッシャー	1	68	404989	ストラップ、タイ	6
34	119426	ネジ、機械式、六角ワッシャーヘッド	8	75	249232	ホース、cpld、1/4 in. x 3.0 ft	1
35*	105510	ワッシャ、ロック、スプリング (ハイカラー)	10	107	15B589	カバー、ポンプロッド	1
36*	108803	ネジ、六角、ソケットヘッド	6	118	249149	ホース、連結、1/4 in. x 22.25 in.	1
37	183401	キー、並行	1	136†	117559	Oリング	2
38	193680	カラー、軸	1	139	196180	ブッシング	1
39*		アーマチュア、クラッチ、4 in.	1	140	16X071	チューブ、ドレン	1
40*		ハブ、アーマチュア	1	141	196181	取り付け金具、ニップル	2
41*		ローター、クラッチ、4 in.	1	142	17H685	ラベル、ポンプ、LL3400	1
42*	101682	ネジ、キャップ、sch	4	145	112395	ネジ、キャップ、flng ヘッド	1
43	287483	ハウジング、ドライブ、34 を含む	1	146▲	290228	ラベル、警告	1
44	287376	ハウジング、ピニオン	1				
45	15E535	ハウジング、クラッチ、機械式	1				
46	116074	ワッシャー、スラスト	1				
47	287484	クランク、GMAX 3400、 46、48、49 を含む	1				
48	180131	ベアリング、スラスト	1				

▲ 交換用の危険性と警告のラベル、タグ、カードは無料で入手できません。

\* クラッチ交換用キット 241109 の付属品

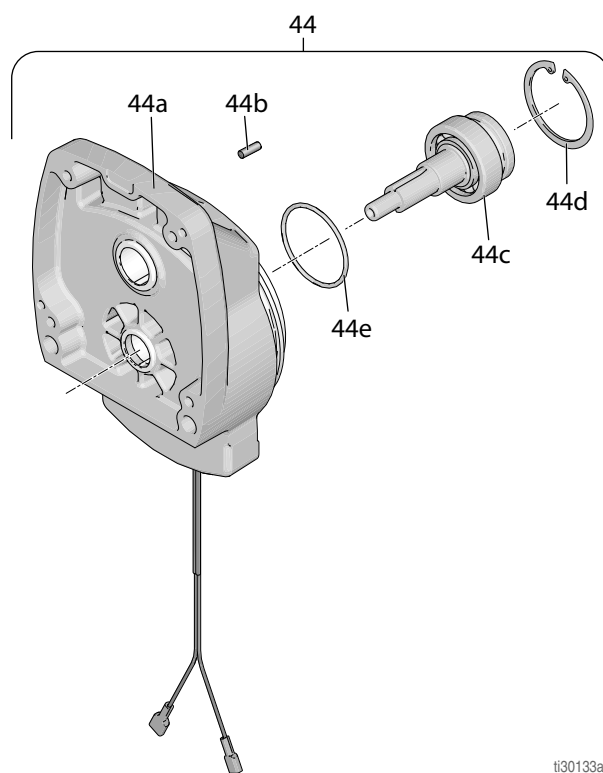
† サクシオンホースキット 17M875 の付属品

## 部品図および一覧 - ピニオンハウジング

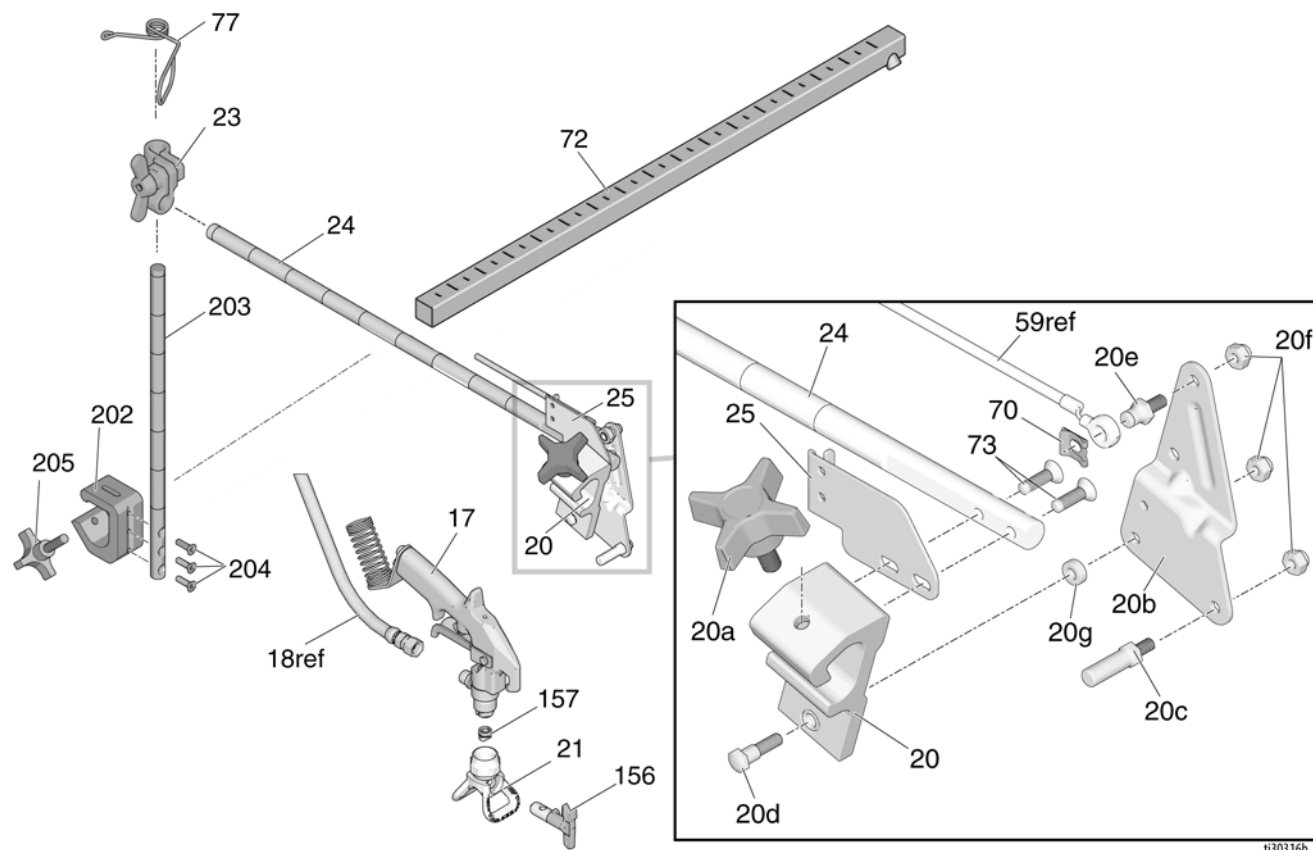
### 参照番号 44: ピニオンハウジング

参照	部品	説明	数量
44	287376	ピニオンハウジング	1
44a	287482	キット、修理、コイル	1
44b	105489	ピン	2
44c*	287485	ピニオンシャフト	1
44d*	113094	保持リング、大型	1
44e*	165295	Oリング、パッキン	1

\* 個別に注文できます



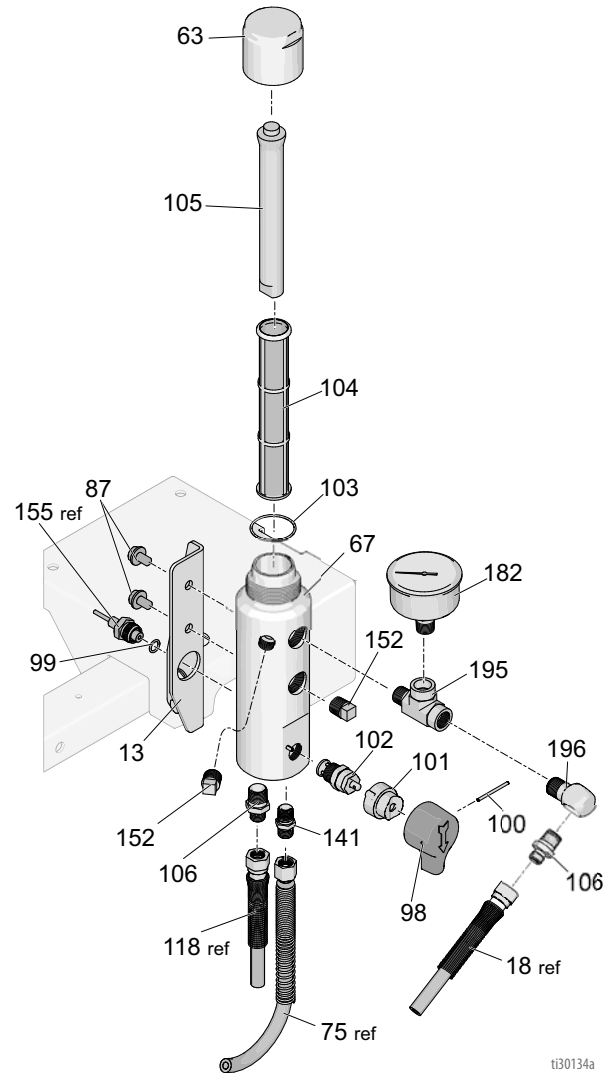
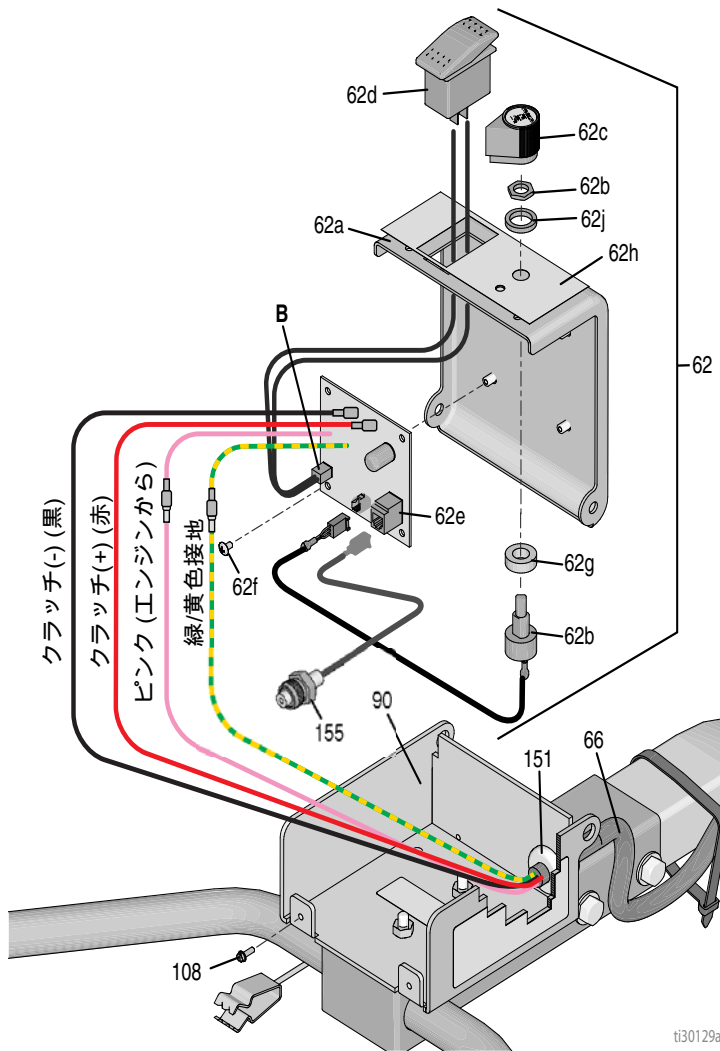
# ガンアーム部品



n30316b

参照	部品	説明	数量	参照	部品	説明	数量
17	248157	ガン、フレックス	1	72	17J407	ブラケット、サポートガン	1
20	15F216	ホルダー、ガン	1	73	119647	ネジ、キャップ、ソケット、flthd	2
20a*	15F750	ノブ、ホルダー、ガン	1	77	188135	ガイド、ケーブル	1
20b*	15F214	レバー、作動装置	1	156	LL5319	チップ、ストライピング、157を含む	1
20c*	15F209	スタッド、ブル、引き金	1	*17H720		ストラップ、タイ、5インチ	3
20d*†	17J575	ファスナ、特殊	1	202	17J424	バー、高さ、調整、アッセンブリ、 203、204、205を含む	1
20e*	17H673	スタッド、ケーブル	1	203	17J139	バー、ガン、ホルダー	1
20f*†	102040	ナット、ロック	3	204	113428	ネジ、マシン	3
20g*†	17J576	スペーサー、特殊	1	205	108471	ノブ、ブロンゲ	1
21	243161	ガード、RAC V	1				
23	24Y645	キット、クランプ	1				
24	17J145	アーム、ホルダー、ガン	1				
25*	15F213	ブラケット、ケーブル	1				
70	*126111	リテーナ、circlip、外部、8mm	1				
						* ガンホルダー修理キット 25A528 に付属	
						† 4 フィンガーガンキット 24Y991 付属品	

# 圧力制御 / フィルタアセンブリ

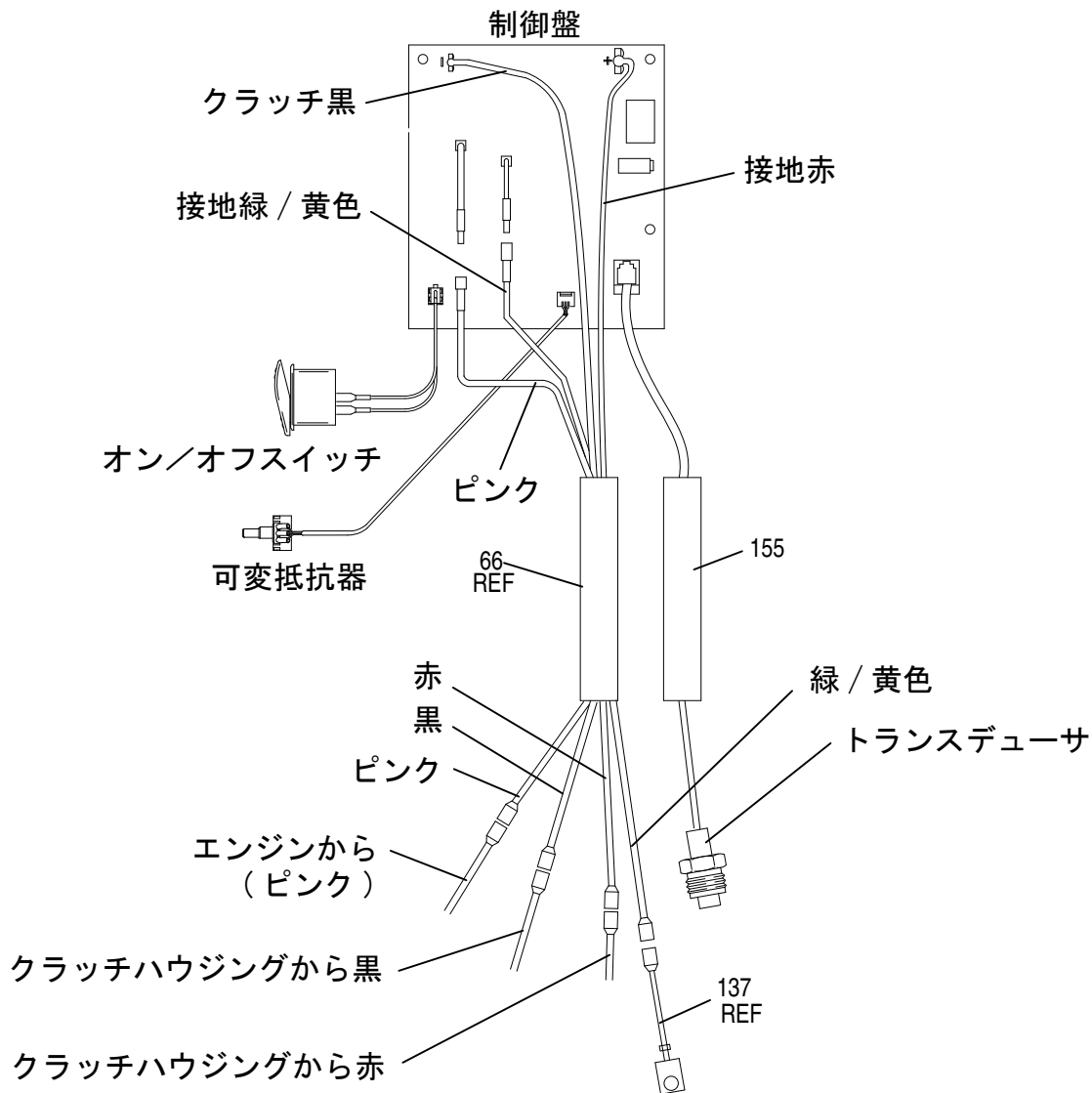


## 部品一覧 - 圧力制御 / フィルタアセンブリ

参照	部品	説明	数量	参照	部品	説明	数量
13	15E748	ブラケット、マニホールド	1	101*	224807	ベース、バルブ	1
62a	15E991	カバー、制御ボックス	1	102*	239914	バルブ、ドレイン	1
62b	256219	可変抵抗器	1	103*	117285	Oリング	1
62c	116167	ノブ、ポテンシオメーター	1	104*	243984	流体フィルター	1
62d	116752	スイッチ、ロッカー	1	105*	15C766	チューブ、拡散	1
62e	287486	ボード、制御	1	106	196177	アダプター、ニップル	2
62f	113045	ネジ、sems、mach、phillips、truss	4	141	196181	取り付け金具、ニップル	1
62g	198650	スペーサー、軸	2	152*	15G331	パイプ、プラグ、sst	2
62h	15F540	ラベル、制御	1	155*	15F782	ハーネス、トランスデューサ、 ラインストライパー	1
62j	15C973	ガスケット	1	182	804582	ゲージ、圧力、液体	1
63*	287285	キャップ、マニホールド、 103、105 を含む	1	195	124490	金具、チーズ	1
67*	17K166	マニホールド、フィルター	1	196	196179	金具、エルボー	1
87	111801	ネジ、キャップ、六角ヘッド	4				
98*	15C780	ハンドル	1				
99*	111457	Oリング	1				
100*	15C972	ピン、溝付き	1				

\* フィルタ修理キット 24Z867 の付属品

# 圧力制御配線図



ti30126a



## 技術データ

LineLazer 3400 (モデル 25M224)		
	米国	メートル法
ホンダ GX120 エンジン		
SAE J1995 @ 3600 rpm	4.0 馬力	
最高使用圧力	3300 psi	22.8 MPa、228 bar
最高駆出量	0.75 gpm	2.84 lpm
最大チップサイズ	1 ガン、0.027 インチチップ	
インレット塗料ストレーナ	12 メッシュ (893 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
アウトレット塗料ストレーナ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
ポンプインレットサイズ	1.0 インチ直径	
液体アウトレットサイズ	0.25 インチ直径	
ノイズレベル		
騒音、ISO 3741 準拠	95.4 dBA	
音圧、ISO 3741 準拠	91.0 dBA	
振動、ISO 5349 準拠		
左手	260 in/s <sup>2</sup>	6.60 m/s <sup>2</sup>
右手	225 in/s <sup>2</sup>	5.72 m/s <sup>2</sup>
接液部部品	ステンレス鋼、PTFE、皮革、ナイロン、垂鉛メッキおよびニッケルメッキ炭素鋼、タングステンカーバイド、クロムメッキ、UHMWPE、アセタール、ポリエチレン	
<b>寸法 (25M224)</b>		
重量 (乾燥時、梱包を含まない)	160.0 lb.	72.5 kg
ハンドルダウン時の高さ	39.4 in.	100.0 cm
ハンドルアップ時の高さ	41.3 in.	104.8 in.
ハンドルダウン時の長さ	66.3 in.	168.4 cm
ハンドルアップ時の長さ	68.0 in.	172.7 cm
幅	26.0 in.	66.0 cm
<b>ガン</b>		
最高使用圧力	5000 psi	345、3.45 (bar、MPa)
重量 (チップおよびガードを含む)	18 oz.	510 g
インレット	1/4 npsm 雄	
最高材料温度	120°F	50°C

LineLazer 3400 (モデル 25P341)		
	米国	メートル法
Honda GX160 エンジン		
SAE J1995 @ 3600 rpm	5.5 馬力	
最高使用圧力	3300 psi	22.8 MPa、228 bar
最高駆出量	0.75 gpm	2.84 lpm
最大チップサイズ	1 ガン、0.027 インチチップ	
インレット塗料ストレーナ	12 メッシュ (893 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
アウトレット塗料ストレーナ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
ポンプインレットサイズ	1.0 インチ直径	
液体アウトレットサイズ	0.25 インチ直径	
ノイズレベル		
騒音、ISO 3741 準拠	95.4 dBA	
音圧、ISO 3741 準拠	91.0 dBA	
振動、ISO 5349 準拠		
左手	260 in/s <sup>2</sup>	6.60 m/s <sup>2</sup>
右手	225 in/s <sup>2</sup>	5.72 m/s <sup>2</sup>
接液部部品	ステンレス鋼、PTFE、皮革、ナイロン、亜鉛メッキおよびニッケルメッキ炭素鋼、タングステンカーバイド、クロムメッキ、UHMWPE、アセタール、ポリエチレン	
<b>寸法 (25M224)</b>		
重量 (乾燥時、梱包を含まない)	165.0 lb.	74.8 kg
ハンドルダウン時の高さ	39.4 in.	100.0 cm
ハンドルアップ時の高さ	41.3 in.	104.8 in.
ハンドルダウン時の長さ	66.3 in.	168.4 cm
ハンドルアップ時の長さ	68.0 in.	172.7 cm
幅	26.0 インチ	66.0 cm
<b>ガン</b>		
最高使用圧力	5000 psi	345、3.45 (bar、MPa)
重量 (チップおよびガードを含む)	18 oz.	510 g
インレット	1/4 npsm 雄	
最高材料温度	120°F	50°C

## カリフォルニア州法 65

カリフォルニア州居住者

 警告 発がんおよび生殖への悪影響 - [www.P65warnings.ca.gov](http://www.P65warnings.ca.gov).

## Graco 標準保証

Graco は、直接お買い上げいただいたお客様のご使用に対し、販売日時から、本ドキュメントに記載された、Graco が製造し、かつ Graco の社名を付した全ての装置の材質および仕上がりに欠陥がないことを保証します。Graco 社により公表された特殊、拡張的または制限的保証を除き、販売日時から起算して 12 か月間、Graco 社により欠陥があると判断された装置の部品を修理、交換いたします。本保証は、Graco の書面の推奨に従って、装置が設置、操作、およびメンテナンスされている場合にのみ有効です。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切なメンテナンス、過失、事故、改ざん、または Graco 製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な摩耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本保証の範囲外であり、Graco は一切責任を負わないものとします。また、Graco の装置と Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適合、あるいは Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適切な設計、製造、取り付け、操作またはメンテナンスが原因で発生した誤動作、損傷、または摩耗については、Graco は一切責任を負わないものとします。

本品質保証は、Graco 販売代理店に、主張された欠陥を確認するために、欠陥があると主張された装置が前払いで返却された時点で、条件が適用されます。主張された欠陥が確認された場合、Graco は全ての欠陥部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げいただけたお客様に返却されます。装置の検査により材料または仕上がりの欠陥が明らかにならなかった場合は、修理は妥当な料金で行われます。料金には部品、労働、および輸送の費用が含まれる可能性があります。

**本保証は唯一のものであり、明示的、黙示的を問わず、商品性の保証、または特定用途への適合性の保証など、その他の保証に代わるものです。**

保証違反の場合の Graco のあらゆる義務およびお客様の救済に関しては、上記規定の通りです。購入者は、他の補償（利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失を含むがこれに限定されるものではない）は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

**Graco 社によって販売されているが、製造されていないアクセサリ、装置、材料、または構成部品に関しては、Graco は保証を負わず、特定目的に対する商用性および適合性の全ての黙示保証は免責されるものとします。**販売されているが Graco 社によって製造されていない製品（電動モーター、スイッチ、ホースなど）がある場合、それらのメーカーの品質保証の対象となります。Graco 社は、これらの保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、Graco の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

# Graco に関する情報

Graco 製品の最新情報については、[www.graco.com](http://www.graco.com) にアクセスしてください。

特許情報については、[www.graco.com/patents](http://www.graco.com/patents) をご覧ください。

**Graco 製品のご注文は、Graco 販売代理店にお問い合わせいただくか、1-800-690-2894 にお電話いただき、最寄りの販売代理店をご確認ください。**

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。  
Graco はいかなる時点においても通知することなく変更を行う権利を保持します。

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 3A4587

**Graco 本社**：Minneapolis

**海外支社**：ベルギー、中国、日本、韓国

**GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA**

Copyright 2016, Graco Inc. Graco のすべての製造場所は ISO 9001 に登録されています。

[www.graco.com](http://www.graco.com)

改訂 F、2021 年 9 月